

【令和3年度評価】中項目ごとの検証・確認における論点整理等

自己評価の区分		判断の目安
IV	年度計画を上回っている	計画の実施状況が100%超
III	概ね年度計画どおり実施している	計画の実施状況が90%超100%以下
II	年度計画を下回っている	計画の実施状況が60%超90%以下
I	年度計画を大幅に下回っている	計画の実施状況が60%以下

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター

項目 No.	R3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証(案)																																
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点(●) 	自己評価																																	
01	<p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保 長期的に安定した運営に必要な医療従事者等を確保するため、計画的・効果的な職員採用に努める。 また、働き方改革に向けた医師のタスク・シフト(シェア)を進めるため、看護師、コメディカル等の安定的な確保と適切な配置を目指す。</p> <p>3 医師、看護師、コメディカル等の人材育成の充実 【医師】 国立成育医療研究センター等国内外先進病院への研修派遣により、優れた医師を養成する。 また、高度専門医療の水準の維持・向上のため、専門医や研修指導医等の取得に向けた研修体制の充実(各種学会や研修会参加支援等)を図る。 【看護師】 より水準の高い看護を提供するため、認定看護師や専門看護師、特定行為看護師等の資格取得又は認定看護管理者の資格取得を目指す看護師に対しては、中長期的に研修・講習に参加できる体制を引き続き確保する。また、特定行為看護師については、特定行為看護師指定研修機関として既存の外科術後病棟管理領域パッケージに、新たに救急領</p>	<p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師の確保については、年度途中の退職者を見込み年度当初に94人、年度途中13人採用することで、長時間勤務やローテーション維持等についての改善を図るとともに、診療報酬の要件である7:1看護体制を上回る体制を確保できた。 ・定年退職した医師を再雇用することで、人員の確保に努めた。 <p>○医療従事者の確保状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常勤医師数</td> <td>180</td> <td>182</td> <td>185</td> </tr> <tr> <td>うち再雇用医師</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>常勤歯科医師数</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>常勤看護師数</td> <td>652</td> <td>691</td> <td>720</td> </tr> <tr> <td>常勤コメディカル数</td> <td>231</td> <td>254</td> <td>265</td> </tr> <tr> <td>医療クラーク</td> <td>59</td> <td>55</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>看護補助職員</td> <td>104</td> <td>96</td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table> <p>※年度末現在</p> <p>3 医師、看護師、コメディカル等の人材育成の充実 【医師】 ・高度専門医療の水準の維持・向上のため、専門医や研修指導医等の取得に向けた研修体制の充実を図った。</p>	項目/年度	2019	2020	2021	常勤医師数	180	182	185	うち再雇用医師	5	7	7	常勤歯科医師数	3	4	4	常勤看護師数	652	691	720	常勤コメディカル数	231	254	265	医療クラーク	59	55	61	看護補助職員	104	96	95	IV	医師、看護師、コメディカル等の職員の充実、高度先端医療の手術件数について評価できる。
項目/年度	2019	2020	2021																																	
常勤医師数	180	182	185																																	
うち再雇用医師	5	7	7																																	
常勤歯科医師数	3	4	4																																	
常勤看護師数	652	691	720																																	
常勤コメディカル数	231	254	265																																	
医療クラーク	59	55	61																																	
看護補助職員	104	96	95																																	

項目 No.	R3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		自己 評価	評価委員会の検証（案）																																																																																			
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																																																																																						
	<p>域のパッケージを加え、より高度な医療に対応できる人材を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年度 受講予定 専門看護師1人（がん看護2年目）、認定看護師1人（感染管理） 特定行為看護師2人（急性期診療モデル、外科術後領域） 認定特定看護師1人（摂食嚥下障害看護） 認定看護管理者7人（ファーストレベル4人、サードレベル2人、サードレベル1人） ・2021年度 資格試験予定 認定看護師2人（手術看護） 特定行為看護師2人（外科術後領域）、認定遺伝カウンセラー1人 <p>【コメディカル】 診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成する。</p> <p>4 高度先端医療の推進 高度先端医療など新しい医療技術について研究及び研修を行うとともに、高齢化社会に向けたより低侵襲な治療を積極的に導入する。また、がんや小児の分野におけるゲノム医療を積極的に取り組み、遺伝子レベルで病態を把握することにより、個々の患者に合った最適な医療を効率的に提供する。</p> <p>5 専門性を発揮したチーム医療の推進 医師・看護師・薬剤師のほか、コメディカル等の専門的知識を有した医療従事者が、医療ニーズに合わせたより質の高い医療を提供するために協働及び連携し、情報の共有化を行う。</p>	<p>○医師の研修派遣・受入実績 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>受入</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>○専門医や研修指導医等の取得に向けた研修、学会・セミナー等の派遣実績 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>843</td> <td>563</td> <td>730</td> </tr> </tbody> </table> <p>【看護師】 ・認定看護師等長期研修5カ年計画に基づき、計画的に認定看護師や専門看護師の資格取得のための研修・講習に参加できる体制を確保した。また、看護師特定行為研修指定研修機関として、当センターの看護師に加え、外部の看護師も受け入れる等、特定行為看護師を育成する役割を果たした。</p> <p>○認定看護師等資格取得者在籍状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="16">認定</td> <td>がん化学療法</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>救急看護</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>小児救急</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下障害</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>新生児集中ケア</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>集中ケア</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>糖尿病看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん放射線療法看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>乳がん看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>慢性心不全</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	2019	2020	2021	派遣	1	2	1	受入	2	3	3	2019	2020	2021	843	563	730	項目／年度	2019	2020	2021	認定	がん化学療法	3	3	3	がん性疼痛	1	2	2	感染管理	3	3	3	救急看護	2	2	2	小児救急	1	1	1	摂食・嚥下障害	1	1	1	皮膚・排泄ケア	3	3	3	新生児集中ケア	2	2	1	集中ケア	3	2	2	糖尿病看護	1	1	1	がん放射線療法看護	1	1	1	乳がん看護	1	1	1	認定看護管理者	2	2	3	慢性心不全	1	1	1	緩和ケア	1	1	1			
項目／年度	2019	2020	2021																																																																																					
派遣	1	2	1																																																																																					
受入	2	3	3																																																																																					
2019	2020	2021																																																																																						
843	563	730																																																																																						
項目／年度	2019	2020	2021																																																																																					
認定	がん化学療法	3	3	3																																																																																				
	がん性疼痛	1	2	2																																																																																				
	感染管理	3	3	3																																																																																				
	救急看護	2	2	2																																																																																				
	小児救急	1	1	1																																																																																				
	摂食・嚥下障害	1	1	1																																																																																				
	皮膚・排泄ケア	3	3	3																																																																																				
	新生児集中ケア	2	2	1																																																																																				
	集中ケア	3	2	2																																																																																				
	糖尿病看護	1	1	1																																																																																				
	がん放射線療法看護	1	1	1																																																																																				
	乳がん看護	1	1	1																																																																																				
	認定看護管理者	2	2	3																																																																																				
	慢性心不全	1	1	1																																																																																				
	緩和ケア	1	1	1																																																																																				

項目 No.	R3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証（案）																																																															
		・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●）																																																																			
	<p>また、チーム医療を進める上で、医療従事者は専門性の高い知識や技術を習得し、ガイドラインやプロトコル等を活用した治療の標準化の浸透を図る。</p> <p>6 ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）等の活用 準夜帯や深夜帯における放射線専門医による画像コンサルテーションを引き続き実施するとともに、画像診断や内視鏡検査等におけるICTやAIの動向を注視し、活用を検討することにより、医師の負担軽減を図り、より安全かつ質の高い医療を提供できるよう努める。</p>	<table border="1"> <tr><td>認知症</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>脳卒中リハビリテーション</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>手術看護</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>精神科看護</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>計</td><td>29</td><td>31</td><td>32</td></tr> <tr><td>専門計</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>小児看護</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>がん看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>計</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>特定行為計</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>創傷管理モデル</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>術中麻酔管理モデル</td><td>0</td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr><td>外科術後管理領域</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><td>計</td><td>1</td><td>3</td><td>6</td></tr> <tr><td>認定遺伝カウンセラー</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>合計</td><td>33</td><td>37</td><td>42</td></tr> </table>	認知症	2	2	2	脳卒中リハビリテーション	1	1	1	手術看護	0	1	2	精神科看護	0	1	1	計	29	31	32	専門計				小児看護	2	2	2	がん看護	1	1	1	計	3	3	3	特定行為計				創傷管理モデル	1	1	1	術中麻酔管理モデル	0	2	3	外科術後管理領域	0	0	2	計	1	3	6	認定遺伝カウンセラー	0	0	1	合計	33	37	42			
認知症	2	2	2																																																																		
脳卒中リハビリテーション	1	1	1																																																																		
手術看護	0	1	2																																																																		
精神科看護	0	1	1																																																																		
計	29	31	32																																																																		
専門計																																																																					
小児看護	2	2	2																																																																		
がん看護	1	1	1																																																																		
計	3	3	3																																																																		
特定行為計																																																																					
創傷管理モデル	1	1	1																																																																		
術中麻酔管理モデル	0	2	3																																																																		
外科術後管理領域	0	0	2																																																																		
計	1	3	6																																																																		
認定遺伝カウンセラー	0	0	1																																																																		
合計	33	37	42																																																																		
		○研修実績																																																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="3">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">認定看護師</td> <td colspan="3">【長期】</td> </tr> <tr> <td colspan="3">・感染管理</td> </tr> <tr> <td colspan="3">・摂食・嚥下障害</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【短期】</td> </tr> <tr> <td colspan="3">単位：人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者（1st）</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者（2nd）</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者（3rd）</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>医療安全研修</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>学会等参加</td> <td colspan="3"> ・日本看護学会 ・日本看護協会研修 ・岐阜県看護協会研修 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	内 容			認定看護師	【長期】			・感染管理			・摂食・嚥下障害			【短期】			単位：人				2019	2020	2021	認定看護管理者（1st）	4	0	4	認定看護管理者（2nd）	0	0	1	認定看護管理者（3rd）	1	0	1	医療安全研修	1	2	3	学会等参加	・日本看護学会 ・日本看護協会研修 ・岐阜県看護協会研修																									
項目	内 容																																																																				
認定看護師	【長期】																																																																				
	・感染管理																																																																				
	・摂食・嚥下障害																																																																				
	【短期】																																																																				
	単位：人																																																																				
	2019	2020	2021																																																																		
認定看護管理者（1st）	4	0	4																																																																		
認定看護管理者（2nd）	0	0	1																																																																		
認定看護管理者（3rd）	1	0	1																																																																		
医療安全研修	1	2	3																																																																		
学会等参加	・日本看護学会 ・日本看護協会研修 ・岐阜県看護協会研修																																																																				

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証（案）																																												
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																																																
		<ul style="list-style-type: none"> ・研修会、セミナー ・その他 看護学会等 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加延べ数</td> <td>852</td> <td>270</td> <td>224</td> </tr> </tbody> </table> <p>COVID-19感染拡大により、集合研修やセミナーの開催が中止となり、計画通りにいかなかった。</p> <p>【コメディカル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成した。 <p>○専門研修への参加状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>239</td> <td>246</td> <td>298</td> </tr> <tr> <td>臨床：中央検査部</td> <td>117</td> <td>32</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>検査技師：病理部</td> <td>31</td> <td>20</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>40</td> <td>4</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>36</td> <td>42</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>13</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>163</td> <td>52</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>639</td> <td>398</td> <td>520</td> </tr> </tbody> </table> <p>○主な専門研修・講習会等</p> <p>【中央放射線部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本放射線技術学会 ・全国自治体病院放射線部会研修会 ・日本放射線治療セミナー ・日本核医学学会 ・日本磁気共鳴医学会 ・医学物理士ミニマム講習会 ・診療放射線技師実習施設指導者等養成講習会 				2019	2020	2021	参加延べ数	852	270	224	項目／年度	2019	2020	2021	薬剤師	239	246	298	臨床：中央検査部	117	32	37	検査技師：病理部	31	20	30	臨床工学技士	40	4	9	リハビリ技師	36	42	31	管理栄養士	13	2	3	放射線技師	163	52	112	合計	639	398	520		
	2019	2020	2021																																															
参加延べ数	852	270	224																																															
項目／年度	2019	2020	2021																																															
薬剤師	239	246	298																																															
臨床：中央検査部	117	32	37																																															
検査技師：病理部	31	20	30																																															
臨床工学技士	40	4	9																																															
リハビリ技師	36	42	31																																															
管理栄養士	13	2	3																																															
放射線技師	163	52	112																																															
合計	639	398	520																																															

項目 No.	R 3 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証（案）																				
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 	自己評価																					
		<ul style="list-style-type: none"> ・業務拡大に伴う統一講習会 ・PET 研修セミナー ・医療安全管理者養成研修会 ・画像等手術支援認定講習会 ※主な資格取得者数（年度末） 単位：人 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>資格名／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アドバンス診療放射線技師</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>放射線被曝相談員</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>X線CT 認定技師</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>放射線機器管理士</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> ※2021 年度新規資格取得者（新規採用者も含む） <ul style="list-style-type: none"> ・放射線機器管理士 2人 ・核医学共鳴専門技術者 1人 ・医療情報技師 1人 ・血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師 1人 ・災害支援認定診療放射線技師 1人 	資格名／年度	2019	2020	2021	アドバンス診療放射線技師	2	3	3	放射線被曝相談員	1	1	1	X線CT 認定技師	4	5	5	放射線機器管理士	2	3	5		
資格名／年度	2019	2020	2021																					
アドバンス診療放射線技師	2	3	3																					
放射線被曝相談員	1	1	1																					
X線CT 認定技師	4	5	5																					
放射線機器管理士	2	3	5																					
		【中央検査部】 <ul style="list-style-type: none"> ・日本臨床衛生検査技師会 ・日本超音波医学会 ・日本超音波検査学会 ・心臓リハビリテーション学会 ・日本臨床微生物学会 ・日本臨床検査医学会 ・日本輸血・細胞治療学会 ・日本心エコー図学会 ・日本検査血液学会 ・全国自治体病院学会 ・岐阜県病院協会医学会 ※主な資格取得者数（年度末） 単位：人 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>資格名／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>超音波検査士（循環器）</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	資格名／年度	2019	2020	2021	超音波検査士（循環器）	6	8	8														
資格名／年度	2019	2020	2021																					
超音波検査士（循環器）	6	8	8																					

項目 No.	R 3 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証（案）
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 				
		超音波検査士（消化器）	9	10	13	
		超音波検査士（体表臓器）	2	3	4	
		超音波検査士（泌尿器）	1	1	1	
		超音波検査士（産婦人科）	0	1	1	
		超音波検査士（血管）	1	1	1	
		血管診療技師	1	1	1	
		認定心電図専門士	5	5	5	
		緊急臨床検査士	10	10	10	
		認定血液検査技師	2	2	2	
		認定微生物検査技師	1	1	2	
		心臓リハビリテーション指導士	2	2	2	
		2 級臨床検査士(微生物)	3	3	5	
		2 級臨床検査士(循環器)	3	3	3	
		緊急臨床検査士	7	7	9	
		感染制御認定微生物検査技師 (ICMT)	1	1	2	
		医療安全管理者	1	1	2	
		臨床検査技師臨地実習指導者	0	0	1	
		※2021 年度新規資格取得者（新規採用者も含む） ・超音波検査士（消化器） 3 人 ・超音波検査士（体表臓器） 1 人 ・認定微生物検査技師 1 人 ・2 級臨床検査士（微生物） 2 人 ・緊急臨床検査士 2 人 ・感染制御認定微生物検査技師（ICMT） 1 人 ・医療安全管理者 1 人 ・臨床検査技師臨地実習指導者 1 人				
		【病理部】 ・日本臨床衛生検査技師会 ・日本臨床細胞学会				

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		自己 評価	評価委員会の検証（案）																				
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																							
		<ul style="list-style-type: none"> ・認定病理検査技師講習会 																							
		※主な資格取得者数（年度末） 単位：人 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>資格名／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定病理検査技師</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td>細胞検査士</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">8</td> </tr> <tr> <td>二級臨床検査士（病理学）</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>検体採取等の講習会修了者</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> </tbody> </table>		資格名／年度	2019	2020	2021	認定病理検査技師	2	3	6	細胞検査士	7	8	8	二級臨床検査士（病理学）	1	1	1	検体採取等の講習会修了者	5	6	6		
資格名／年度	2019	2020	2021																						
認定病理検査技師	2	3	6																						
細胞検査士	7	8	8																						
二級臨床検査士（病理学）	1	1	1																						
検体採取等の講習会修了者	5	6	6																						
		※2021年度新規資格取得者（新規採用者も含む） <ul style="list-style-type: none"> ・認定病理検査技師 3人 																							
		【薬剤部】 <ul style="list-style-type: none"> ・日本医療薬学会年会 ・日病薬 日薬東海ブロック合同学術大会 ・日本麻酔科学会 周術期セミナー ・岐阜県病院薬剤師会研修会 ・日本小児臨床薬理学会 ・日本化学療法学会 ・日本臨床救急医学会 ・日本腎臓病薬物療法学会 ・日本臨床腫瘍学会 Essential seminar ・日本臨床腫瘍学会 ・日本緩和医療薬学会 ・医療情報学連合大会・医療情報学会 ・全国自治体病院協議会 薬剤部会オンラインセミナー ・母乳育児シンポジウム ・Asian Conference on Clinical Pharmacy ・医療安全管理者養成講習会 																							
		※主な資格取得者数（年度末） 単位：人 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>資格名／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>感染制御認定薬剤師</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>抗菌化学療法認定薬剤師</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>日病薬 病院薬学認定薬剤師</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: center;">21</td> <td style="text-align: center;">28</td> </tr> </tbody> </table>		資格名／年度	2019	2020	2021	感染制御認定薬剤師	2	2	2	抗菌化学療法認定薬剤師	2	2	2	日病薬 病院薬学認定薬剤師	17	21	28						
資格名／年度	2019	2020	2021																						
感染制御認定薬剤師	2	2	2																						
抗菌化学療法認定薬剤師	2	2	2																						
日病薬 病院薬学認定薬剤師	17	21	28																						

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証（案）
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 				
		がん専門薬剤師	2	2	3	
		緩和薬物療法認定薬剤師	0	1	1	
		日本糖尿病療養指導士	5	5	5	
		周術期管理チーム認定薬剤師	1	2	2	
		外来がん治療認定薬剤師	1	1	1	
		腎臓病療養指導士	2	2	2	
		小児薬物療法認定薬剤師	2	2	2	
		救急認定薬剤師	1	1	1	
		NST 専門療法士	1	1	1	
		心不全療養指導士	0	1	1	
		※2021 年度新規資格取得者（新規採用者も含む） ・日病薬 病院薬学認定薬剤師 10人 ・がん専門薬剤師 1人 ・認定実務実習指導薬剤師 1人 ・アレルギー疾患療養指導士 3人				
		【中央リハビリテーション部】 ・日本ハンドセラピィ学会 ・日本理学療法学会 ・日本集中治療医学会 ・日本呼吸ケアリハビリテーション学会 ・日本心臓リハビリテーション学会				
		※主な資格取得者数（年度末） 単位：人				
		資格名／年度	2019	2020	2021	
		3 学会合同呼吸療法認定士	23	25	29	
		心臓リハビリテーション指導士	3	3	6	
		認定理学療法士	3	4	8	
		心不全療養指導士	0	1	4	
		日本糖尿病療養指導士	1	1	1	
		日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士	1	1	1	

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証（案）																																
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																																				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>LSVT®資格認定</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </table>	LSVT®資格認定	1	1	1																																
LSVT®資格認定	1	1	1																																			
		<p>※2021 年度新規資格取得者（新規採用者も含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3 学会合同呼吸療法認定士 4 人 ・心臓リハビリテーション指導士 3 人 ・認定理学療法士 4 人 ・心不全療養指導士 3 人 																																				
		<p>【栄養部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国自治体病院学会 ・岐阜県病院協会医学会 ・日本心臓リハビリ学会学術集会 ・日本臨床栄養代謝学会 ・日本静脈経腸栄養学会 ・日本病態栄養学会年次学術集会 ・がん専門管理栄養士セミナー 																																				
		<p>※主な資格取得者数（年度末） 単位：人</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>資格名／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NST 専門療法士</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td>糖尿病療養指導士</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td>病態栄養専門管理栄養士</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td>がん病態栄養専門管理栄養士</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>心臓リハビリテーション指導士</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>健康運動指導士</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>アレルギー疾患療養指導士</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </tbody> </table>			資格名／年度	2019	2020	2021	NST 専門療法士	3	3	4	糖尿病療養指導士	5	5	5	病態栄養専門管理栄養士	4	4	4	がん病態栄養専門管理栄養士	2	2	2	心臓リハビリテーション指導士	1	1	1	健康運動指導士	1	1	1	アレルギー疾患療養指導士	0	0	2		
資格名／年度	2019	2020	2021																																			
NST 専門療法士	3	3	4																																			
糖尿病療養指導士	5	5	5																																			
病態栄養専門管理栄養士	4	4	4																																			
がん病態栄養専門管理栄養士	2	2	2																																			
心臓リハビリテーション指導士	1	1	1																																			
健康運動指導士	1	1	1																																			
アレルギー疾患療養指導士	0	0	2																																			
		<p>※2021 年度新規資格取得者（新規採用者も含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NST 専門療法士 1 人 ・アレルギー疾患療養指導士 2 人 																																				
		<p>【臨床工学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本臨床工学技士会 ・岐阜県臨床工学技士会セミナー ・岐阜県臨床工学技士会学術大会 ・医療機器安全基礎講習会（ME 技術講習会） 																																				

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		自己 評価	評価委員会の検証（案）																																																								
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																																																											
		<ul style="list-style-type: none"> ・透析液安全管理責任者セミナー ・日本人工臓器学会教育セミナー <p>※主な資格取得者数（年度末） 単位：人</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">資格名／年度</th> <th style="width: 10%;">2019</th> <th style="width: 10%;">2020</th> <th style="width: 10%;">2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>体外循環技術認定士</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td></tr> <tr><td>透析技術認定士</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>呼吸療法認定士</td><td>4</td><td>4</td><td>6</td></tr> <tr><td>不整脈治療関連専門臨床工学技士</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>認定集中治療関連臨床工学技士</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><td>植込み型心臓デバイス認定士</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>心血管インターベンション技師</td><td>0</td><td>0</td><td>5</td></tr> <tr><td>第一種ME 技術者</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>医療機器情報コミュニケーター (MDIC)</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>認定ホスピタルエンジニア</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>ICLS 認定インストラクター</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>AHA-BLS プロバイダーコース</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>AHA-ACLS プロバイダーコース</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr> </tbody> </table> <p>※2021 年度新規資格取得者（新規採用者も含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸療法認定士 2人 ・不整脈治療関連専門臨床工学技士 1人 ・認定集中治療関連臨床工学技士 2人 ・植込み型心臓デバイス認定士 1人 ・心血管インターベンション技師 5人 ・第一種ME 技術者 1人 ・医療機器情報コミュニケーター (MDIC) 1人 <p><u>4 高度先端医療の推進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度先端医療など新しい医療技術を実施するため、新たに下記の施設認定を取得した。 		資格名／年度	2019	2020	2021	体外循環技術認定士	5	5	5	透析技術認定士	4	4	4	呼吸療法認定士	4	4	6	不整脈治療関連専門臨床工学技士	0	0	1	認定集中治療関連臨床工学技士	0	0	2	植込み型心臓デバイス認定士	0	0	1	心血管インターベンション技師	0	0	5	第一種ME 技術者	0	0	1	医療機器情報コミュニケーター (MDIC)	1	1	2	認定ホスピタルエンジニア	1	1	1	ICLS 認定インストラクター	1	1	1	AHA-BLS プロバイダーコース	4	4	4	AHA-ACLS プロバイダーコース	4	4	4		
資格名／年度	2019	2020	2021																																																										
体外循環技術認定士	5	5	5																																																										
透析技術認定士	4	4	4																																																										
呼吸療法認定士	4	4	6																																																										
不整脈治療関連専門臨床工学技士	0	0	1																																																										
認定集中治療関連臨床工学技士	0	0	2																																																										
植込み型心臓デバイス認定士	0	0	1																																																										
心血管インターベンション技師	0	0	5																																																										
第一種ME 技術者	0	0	1																																																										
医療機器情報コミュニケーター (MDIC)	1	1	2																																																										
認定ホスピタルエンジニア	1	1	1																																																										
ICLS 認定インストラクター	1	1	1																																																										
AHA-BLS プロバイダーコース	4	4	4																																																										
AHA-ACLS プロバイダーコース	4	4	4																																																										

項目 No.	R 3 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証（案）																																								
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 	自己 評価																																									
		<p><施設認定名称> 臨床遺伝専門医制度研修施設 アレルギー領域専門研修基幹施設 日本病理学会病理専門医制度研修施設（登録施設） 潜在性脳梗塞に対する卵円孔開存閉鎖術実施施設 経皮的僧帽弁接合不全修復システム指導施設 経カテーテル大動脈弁置換術専門施設</p> <p>・外科系学会社会保険委員会連合が指定した高難度手術（D、E難度）や遺伝子検査を積極的に実施し、高度先端医療を推進した。</p> <p>○高度先端医療の実施状況 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>D, E 難度手術実施数</td> <td>5, 311</td> <td>4, 850</td> <td>5, 263</td> </tr> <tr> <td>遺伝子検査実施数</td> <td>526</td> <td>653</td> <td>767</td> </tr> </tbody> </table> <p>※遺伝子検査：D006-2～D006-20 に該当する検査</p> <p>5 専門性を発揮したチーム医療の推進</p> <p>・異なる職種 of メディカルスタッフが連携・協働し、それぞれの専門スキルを発揮することにより、治療やケアに当たることができた。</p> <p><主な医療チーム> ICT、緩和ケアチーム、呼吸器ケアチーム、褥瘡ケアチーム、口腔ケアチーム、NST、摂食嚥下チーム、認知症ケアチーム、AST、早期離床リハビリテーションチーム、心不全チーム、排尿自立ケアチーム</p> <p>○各種チーム加算算定数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緩和ケア診療加算</td> <td>1, 757</td> <td>1, 221</td> <td>1, 148</td> </tr> <tr> <td>呼吸ケアチーム加算</td> <td>0</td> <td>16</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>褥瘡パッド患者ケア加算</td> <td>2, 268</td> <td>2, 101</td> <td>2, 545</td> </tr> <tr> <td>栄養サポートチーム加算</td> <td>774</td> <td>951</td> <td>988</td> </tr> <tr> <td>認知症ケア加算</td> <td>1, 645</td> <td>1, 176</td> <td>1, 331</td> </tr> <tr> <td>早期離床リハビリテーション加算</td> <td>1, 013</td> <td>999</td> <td>1, 313</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	2019	2020	2021	D, E 難度手術実施数	5, 311	4, 850	5, 263	遺伝子検査実施数	526	653	767	項目／年度	2019	2020	2021	緩和ケア診療加算	1, 757	1, 221	1, 148	呼吸ケアチーム加算	0	16	26	褥瘡パッド患者ケア加算	2, 268	2, 101	2, 545	栄養サポートチーム加算	774	951	988	認知症ケア加算	1, 645	1, 176	1, 331	早期離床リハビリテーション加算	1, 013	999	1, 313		
項目／年度	2019	2020	2021																																									
D, E 難度手術実施数	5, 311	4, 850	5, 263																																									
遺伝子検査実施数	526	653	767																																									
項目／年度	2019	2020	2021																																									
緩和ケア診療加算	1, 757	1, 221	1, 148																																									
呼吸ケアチーム加算	0	16	26																																									
褥瘡パッド患者ケア加算	2, 268	2, 101	2, 545																																									
栄養サポートチーム加算	774	951	988																																									
認知症ケア加算	1, 645	1, 176	1, 331																																									
早期離床リハビリテーション加算	1, 013	999	1, 313																																									

項目 No.	R 3 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証（案）													
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 	自己 評価														
		<p>6 ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度及び2018年度に整備した遠隔画像コンサルテーションシステムを積極的に活用し、準夜帯及び深夜帯の院内専門医不在時における画像コンサルテーションを、外部の放射線専門医に依頼することにより、安全かつ質の高い医療を提供した。2021年度は3,643件のCT・MRI検査画像のコンサルテーション依頼を行った。 <p>○救急の外部コンサルテーション依頼数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>2,983</td> <td>3,091</td> <td>3,271</td> </tr> <tr> <td>MRI</td> <td>377</td> <td>412</td> <td>372</td> </tr> </tbody> </table>		項目/年度	2019	2020	2021	CT	2,983	3,091	3,271	MRI	377	412	372		
項目/年度	2019	2020	2021														
CT	2,983	3,091	3,271														
MRI	377	412	372														
02	<p>1 待ち時間の改善等</p> <p>当院における急性期治療から脱した患者に対する他の医療機関への逆紹介の推進や予約枠の均等配分等により、外来機能のスリム化及び平準化を図るとともに、医師事務作業補助者等スタッフの適正な配置により、診療及び検査等の業務の効率化と迅速化を図ることで診察待ち時間の短縮に努める。加えて、患者が待合室を離れて待機できるよう、携帯電話等での呼び出しシステムの活用を検討する。</p> <p>また、業務の見直しや医療機器の更新等による検査（採血、心電図、超音波等）の効率的な実施やキャッシュレス決済等による支払手法の拡大等により、検査や会計待ち時間の改善を図る。</p> <p>さらに、待ち時間の実態調査（患者満足度調査「年1回」及びシステムによる調査「年4回」）や系統的な確認を継続的に実施し、患者からの意見・要望に対して、各部署において改善計画を立案し、積極的に取り組むことで平均待ち時間の短縮を図る。</p>	<p>1 待ち時間の改善等</p> <p><外来部門></p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査・診察・治療を患者に合わせたきめ細かい対応を行うことにより、院内滞在時間の縮減を図る取組を継続した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・検査が必要な患者に対しては検査を先に実施 ・看護師による指導を必要とする患者に対しての指導・説明を待ち時間に実施 ・入院患者に対する説明の一元化 ・病診連携による紹介患者については、診察予約時間30分以内の診察を徹底 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・待ち時間の有効活用に向けた取組を継続した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・待ち時間に待合場所を離れる患者に対して、希望により携帯電話による呼び出しを実施 ・診療科に即したパンフレットや図書を配置 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関からの外来予約について、インターネットを活用した受付を小児科において継続実施した。 ・患者満足度調査にあわせて、待ち時間調査を実施するとともに、システムに 		IV	外国人に対する多言語による対応について評価できる。												

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証（案）																																										
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 	自己 評価																																											
	<p>3 医療に関する相談体制の充実 外来初診受付付近に患者に分かりやすい相談窓口を設け、相談担当者が対応する。相談内容に応じて関係部署との連携を図り、診療内容、在宅支援、苦情、就労支援をはじめあらゆる相談に迅速に対応可能な体制を整える。また、毎週カンファレンスを開催し、問題事項についてスタッフ間で協議、共有する。</p> <p>4 外国人に配慮した受診支援 外国人の対応については、常勤の医療通訳の配置を継続するほか、院内の外国語表示の充実、タブレット端末や電話による医療通訳の活用、医療に関する各種書類等の外国語対応を行い、外国人患者が安心して受診できる体制を整備する。</p>	<p>よる待ち時間の把握を年4回実施し、状況の把握に努めた。調査の結果、患者満足度調査、システムによる調査ともに待ち時間は延長傾向となった。これは、COVID-19の影響で減少した外来患者数が戻ってきたこと及び感染対策の強化、徹底によるものと推測される。</p> <p>○患者満足度調査による平均待ち時間 単位：分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>36</td> <td>32</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table> <p>※予約時刻と実際の診療開始時刻までの時間</p> <p>○システムによる待ち時間別患者構成率 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年月/待ち時間</th> <th>～30分</th> <th>30～2時間</th> <th>2時間～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020.1</td> <td>51.5</td> <td>41.2</td> <td>7.3</td> </tr> <tr> <td>2021.1</td> <td>51.4</td> <td>43.5</td> <td>5.2</td> </tr> <tr> <td>2022.1</td> <td>43.9</td> <td>46.9</td> <td>9.2</td> </tr> </tbody> </table> <p><中央検査部門></p> <ul style="list-style-type: none"> ・待ち時間の短縮を図るため、採血開始時間を8時とする取組を継続するとともに、第2採血室にて全体の3割の採血を実施した。 2019：6ブース→2020：9ブース→2021：9ブース ・超音波検査（生理検査部門）では、COVID-19の影響の継続による対象患者数の減少が、待ち時間短縮に繋がり、60分未満の患者割合が増加した。 <p>○超音波検査待ち時間の推移（カッコ内の数字は技師数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度/項目</th> <th>総数</th> <th>60分未満</th> <th>～90分</th> <th>90分超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2019 (14)</td> <td>26,155件</td> <td>86.8%</td> <td>11.0%</td> <td>2.2%</td> </tr> <tr> <td>2020 (13)</td> <td>25,430件</td> <td>93.3%</td> <td>5.7%</td> <td>1.0%</td> </tr> <tr> <td>2021 (12)</td> <td>24,906件</td> <td>94.7%</td> <td>4.6%</td> <td>0.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・一方で、外来超音波は増加し、特に心臓超音波の増加が著しいため、循環器の医師と相談し、超音波検査室外で実施する特殊検査を午後集約し、検査室内の午前中の人員を確保することで、対応した。</p>	2019	2020	2021	36	32	36	年月/待ち時間	～30分	30～2時間	2時間～	2020.1	51.5	41.2	7.3	2021.1	51.4	43.5	5.2	2022.1	43.9	46.9	9.2	年度/項目	総数	60分未満	～90分	90分超	2019 (14)	26,155件	86.8%	11.0%	2.2%	2020 (13)	25,430件	93.3%	5.7%	1.0%	2021 (12)	24,906件	94.7%	4.6%	0.7%		
2019	2020	2021																																												
36	32	36																																												
年月/待ち時間	～30分	30～2時間	2時間～																																											
2020.1	51.5	41.2	7.3																																											
2021.1	51.4	43.5	5.2																																											
2022.1	43.9	46.9	9.2																																											
年度/項目	総数	60分未満	～90分	90分超																																										
2019 (14)	26,155件	86.8%	11.0%	2.2%																																										
2020 (13)	25,430件	93.3%	5.7%	1.0%																																										
2021 (12)	24,906件	94.7%	4.6%	0.7%																																										

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		自己 評価	評価委員会の検証（案）																														
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																																	
		<p>○超音波検査件数（外来分） 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総数</td> <td>21,985</td> <td>18,860</td> <td>19,828</td> </tr> <tr> <td>うち心臓超音波</td> <td>6,316</td> <td>5,477</td> <td>8,929</td> </tr> </tbody> </table>		項目／年度	2019	2020	2021	総数	21,985	18,860	19,828	うち心臓超音波	6,316	5,477	8,929																				
項目／年度	2019	2020	2021																																
総数	21,985	18,860	19,828																																
うち心臓超音波	6,316	5,477	8,929																																
		<p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週木曜日にカンファレンスを開催し、医療相談に係る問題事項についての協議を行った。 <p>○カンファレンスで協議した事項及び件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院の環境</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>患者等からの相談</td> <td>13</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>患者相談対応力向上のための事例検討</td> <td>48</td> <td>28</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>患者等からの苦情</td> <td>73</td> <td>44</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>10</td> <td>17</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・医療相談は、外来及び入院後の相談があり、高齢化に伴い独居や生活保護などの福祉相談が増加した。また、入退院支援加算算定数増加の取り組みにより入院後7日以内の相談件数が増加した。 <p>○医療相談件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,606</td> <td>7,264</td> <td>7,377</td> </tr> </tbody> </table>		項目／年度	2019	2020	2021	病院の環境	3	3	0	患者等からの相談	13	5	4	患者相談対応力向上のための事例検討	48	28	32	患者等からの苦情	73	44	37	その他	10	17	1	2019	2020	2021	5,606	7,264	7,377		
項目／年度	2019	2020	2021																																
病院の環境	3	3	0																																
患者等からの相談	13	5	4																																
患者相談対応力向上のための事例検討	48	28	32																																
患者等からの苦情	73	44	37																																
その他	10	17	1																																
2019	2020	2021																																	
5,606	7,264	7,377																																	
		<p>4 外国人に配慮した受診支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・COVID-19の影響により通訳ボランティアの派遣中止が継続となる中、外国人の受診を支援するため、職員による対応を引き続き行った。 <p>○医療通訳病院職員対応件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中国語</td> <td>223</td> <td>294</td> <td>259</td> </tr> </tbody> </table>		項目／年度	2019	2020	2021	中国語	223	294	259																								
項目／年度	2019	2020	2021																																
中国語	223	294	259																																

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証（案）
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 				
		英語	335	399	507	
		ポルトガル語	342	241	214	
		スペイン語	99	102	51	
		その他	0	62	53	
		合計	999	1,098	1,084	
		○医療通訳ボランティア派遣依頼件数 単位：件				
		項目／年度	2019	2020	2021	
		ポルトガル語	244	2	0	
		中国語	0	0	0	
		タガログ語	2	0	0	
		合計	246	2	0	
		<ul style="list-style-type: none"> ・電話による通訳サービスを継続し、通訳担当職員不在時（夜間休日）などにも対応できるよう努めた。 				
		○電話通訳サービス利用件数 単位：件				
		項目／年度	2019	2020	2021	
		ポルトガル語	7	9	11	
		中国語	2	0	0	
		タガログ語	5	1	5	
		ベトナム語	0	6	2	
		英語	1	1	0	
		スペイン語	4	0	0	
		タイ語	0	0	20	
		合計	19	17	38	
		<ul style="list-style-type: none"> ・医療に関する各種書類については、説明書等の文書や患者の診断書の翻訳版を提供することで、外国人患者が安心して受診できる体制の構築に努めた。今年度は、入院する際に使用する入院案内について、英語、ポルトガル語、ベトナム語に翻訳したものを作成した。 				

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証（案）																																												
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 	自己 評価																																													
04	<p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の維持・向上 当センターと地域医療機関がそれぞれの特性を生かしながら機能分担し、患者が病状に即した医療を受診できるよう地域全体で協力し、ケアしていくため、「地域医療支援病院」として、紹介率の維持・向上（75%以上）及び逆紹介率の維持・向上（95%以上）を目指すことで、地域の医療機関との連携及び協力体制のさらなる充実を図る。 また、地域の各医療機関を定期的に訪問することにより、開放型病床登録医療機関及び登録医師数のさらなる拡大や紹介患者数の増加を目指し、「病病連携」や「病診連携」をさらに推進する。</p> <p>2 地域連携パスの整備普及 現在運用している地域連携パスの有用性を検証し、運用実績の向上を目指す。既に運用中の急性心筋梗塞、脳卒中、大腿骨頸部骨折、ウイルス性肝炎等の連携パスについては、更なる改善・充実を図るとともに、平成23年から運用が開始された5大がん及び前立腺がんを加えた六つのがん（胃がん、大腸がん、肝臓がん、肺がん、乳がん、前立腺がん）の既存の地域連携パスについても、岐阜大学医学部附属病院等関係医療機関と共同で取り組む。また、岐阜地域医師会連携パス機構による新たな連携パス（CR-GNet）の院内での普及及び活用に努め、運用率を高める。</p>	<p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の維持・向上 ・紹介率・逆紹介率について、COVID-19の影響下、患者の移動制限が継続される中で、年度計画（紹介率75%以上、逆紹介率95%以上）の目標に対して逆紹介率は達成できたが、紹介率は達成できなかった。</p> <p>○紹介率・逆紹介率 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>77.3</td> <td>70.0</td> <td>71.9</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>96.2</td> <td>97.6</td> <td>110.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>・開放型病床登録医療機関及び登録医師数の拡大を目指し、新規に開設した医療機関に対する働きかけを行った結果、新たに17医療機関が追加となり、合計で433医療機関、550名の登録数となった。</p> <p>○開放型病床登録数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機関数</td> <td>389</td> <td>416</td> <td>433</td> </tr> <tr> <td>医師数</td> <td>521</td> <td>531</td> <td>550</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 地域連携パスの整備普及 ・地域連携パスに関する院内への周知、定期的なモニタリングを行うとともに、院内外の相談窓口として連絡調整を行った。 ・地域医師会や岐阜大学医学部附属病院による地域連携パスに係る学習会は、今年度もCOVID-19の影響で開催されなかった。 ・地域連携パスの院内での普及を進めており、現在17種類の運用を行っている。その結果、脳卒中や乳がんの適用数減少により、運用実績数は前年度を下回った。</p> <p>○地域連携パスの運用実績 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>連携パス名</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急性心筋梗塞</td> <td>59</td> <td>62</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>大腿骨頸部骨折</td> <td>125</td> <td>163</td> <td>168</td> </tr> <tr> <td>脳卒中</td> <td>284</td> <td>313</td> <td>255</td> </tr> <tr> <td>胃がん</td> <td>41</td> <td>30</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	2019	2020	2021	紹介率	77.3	70.0	71.9	逆紹介率	96.2	97.6	110.5	項目/年度	2019	2020	2021	医療機関数	389	416	433	医師数	521	531	550	連携パス名	2019	2020	2021	急性心筋梗塞	59	62	69	大腿骨頸部骨折	125	163	168	脳卒中	284	313	255	胃がん	41	30	45	III	COVID-19の影響により地域連携パスの運用実績が減少した。
項目/年度	2019	2020	2021																																													
紹介率	77.3	70.0	71.9																																													
逆紹介率	96.2	97.6	110.5																																													
項目/年度	2019	2020	2021																																													
医療機関数	389	416	433																																													
医師数	521	531	550																																													
連携パス名	2019	2020	2021																																													
急性心筋梗塞	59	62	69																																													
大腿骨頸部骨折	125	163	168																																													
脳卒中	284	313	255																																													
胃がん	41	30	45																																													

項目 No.	R 3 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証（案）																																																							
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																																																											
		<table border="1"> <tr><td>肝がん</td><td>3</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>大腸がん</td><td>53</td><td>72</td><td>70</td></tr> <tr><td>乳がん</td><td>127</td><td>82</td><td>40</td></tr> <tr><td>肝炎</td><td>2</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>肺がん</td><td>22</td><td>16</td><td>9</td></tr> <tr><td>糖尿病</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>COPD</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>CKD</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>PSA</td><td>17</td><td>21</td><td>14</td></tr> <tr><td>前立腺がん</td><td>41</td><td>33</td><td>29</td></tr> <tr><td>尿路上皮がん</td><td>2</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>サポートパス</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>心不全</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>合計</td><td>778</td><td>797</td><td>702</td></tr> </table>	肝がん	3	1	2	大腸がん	53	72	70	乳がん	127	82	40	肝炎	2	1	0	肺がん	22	16	9	糖尿病	0	1	1	COPD	1	1	0	CKD	0	0	0	PSA	17	21	14	前立腺がん	41	33	29	尿路上皮がん	2	1	0	サポートパス	0	0	0	心不全	1	0	0	合計	778	797	702			
肝がん	3	1	2																																																										
大腸がん	53	72	70																																																										
乳がん	127	82	40																																																										
肝炎	2	1	0																																																										
肺がん	22	16	9																																																										
糖尿病	0	1	1																																																										
COPD	1	1	0																																																										
CKD	0	0	0																																																										
PSA	17	21	14																																																										
前立腺がん	41	33	29																																																										
尿路上皮がん	2	1	0																																																										
サポートパス	0	0	0																																																										
心不全	1	0	0																																																										
合計	778	797	702																																																										
05	<p>1 救急医療 岐阜圏域の救命救急センターとして、救命救急センター運営マニュアルに基づき、循環器系疾患、外傷をはじめ、指肢切断、急性薬物中毒などの特殊な症例を含め全ての救急疾患（精神科疾患を除く）に対し全診療科が対応し、二次・三次救急患者を24時間体制で受け入れ、安心して受診できる体制を確保し、更なる救命救急センター機能の強化と充実を図り、「断らない医療」を目指す。</p> <p>2 心血管疾患医療 心筋梗塞をはじめとする虚血性心疾患、慢性心不全、弁膜症、大動脈疾患、末梢血管疾患、不整脈等心血管系の疾患患者に対し、内科系の循環器内科と外科系の心臓血管外科が連携したチーム医療を推進するとともに、高齢化社会に対応した低侵襲治療を充実させることで、不整脈治療、カテーテル治療、外科的治療、ハイブリッド治療、心臓リハビリテーション等患者にとって最新で最適な治療を提供する。</p> <p>3 周産期医療</p>	<p>1 救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜圏域の救命救急センターとして、精神科疾患を除くすべての救命救急疾患に対し全診療科が対応、当センターでの救急医療の完結を目指し、二次・三次救急患者を24時間体制で受け入れた。 ・受入体制について、外来については、内科系、外科系、小児科系の医師による24時間体制としたほか、入院については、主治医制で対応した。一方、臨床検査や放射線検査については、常時、検査可能とし、救急関係診療科の24時間呼び出しにより、緊急手術に常時対応できる体制を確保した。また、麻酔科医、産婦人科医等専門診療科医については、オンコール体制での対応を行った。 <p>○病床利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延入院患者数（単位：人）</td> <td>8,062</td> <td>6,360</td> <td>7,708</td> </tr> <tr> <td>病床利用率（単位：％）</td> <td>73.4</td> <td>58.1</td> <td>70.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>○救急車受入状況 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急車受入件数</td> <td>5,706</td> <td>4,705</td> <td>5,327</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	2019	2020	2021	延入院患者数（単位：人）	8,062	6,360	7,708	病床利用率（単位：％）	73.4	58.1	70.4	項目／年度	2019	2020	2021	救急車受入件数	5,706	4,705	5,327	IV	重点的に取り組む医療の各項目の実績について十分評価できる。																																					
項目／年度	2019	2020	2021																																																										
延入院患者数（単位：人）	8,062	6,360	7,708																																																										
病床利用率（単位：％）	73.4	58.1	70.4																																																										
項目／年度	2019	2020	2021																																																										
救急車受入件数	5,706	4,705	5,327																																																										

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証（案）																																																																															
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																																																																																			
	<p>総合周産期センター（産科・胎児診療科）と新生児医療センター（新生児内科）を基幹として、出生前診断・胎児治療を含め各科の枠を超えた母とこどもの総合的な高度医療を提供する。</p> <p>各センターでは、重症妊産婦や超早産児をはじめとして他施設では対応困難な症例に対して、専用のドクターカー（すこやか号）やドクターヘリ等による母体搬送や新生児搬送を24時間体制で受け入れ、後遺症なき発育を目指す。</p> <p>県下全域に影響が危惧される事案が発生した場合には、県及び岐阜県周産期医療協議会等へ報告するとともに連携し協力体制を整える。</p> <p>4 がん医療</p> <p>地域がん診療連携拠点病院として各部署の機能を一層充実させ、院内がん登録数、がん相談件数等を増加させる。地域の患者と医療機関からの信頼を得るべく、あらゆる病期のがん患者に対して、診療ガイドラインに基づいた良質な医療を提供する。</p> <p>若年世代のがん患者が増加していることから、就学や就労、生殖機能の温存等のニーズに対応できるように近隣の病院や専門施設との連携を強化する。</p> <p>最新技術を用いて、がんの早期診断、早期治療に努めるとともに、進行がん患者に対しては、集学的治療により、さらなる治療成績の向上を図る。ロボット手術の保険収載術式の拡大に伴い、各診療科においても、先進的低侵襲治療を積極的に展開させる。</p> <p>ゲノム医療については、がんゲノム医療中核拠点病院である名古屋大学医学部附属病院と連携し、遺伝子変異に基づいた個別化治療につなげるためのがん遺伝子パネル検査を推進する。</p> <p>5 大がん地域連携パスを活用して、一層緊密な病診連携を推進する。治療方針に苦慮する症例については、カンサードボードに提示し、全科的な検討の上、当センターとしての治療方針を決定する。</p> <p>外来化学療法センターでは、快適な環境下で多職種スタ</p>	<table border="1"> <tr> <td>一日平均件数</td> <td>15.6</td> <td>12.9</td> <td>14.6</td> </tr> </table> <p>○救急外来患者（診療科別：上位のみ） 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児科</td> <td>6,428</td> <td>2,831</td> <td>3,945</td> </tr> <tr> <td>消化器内科</td> <td>2,809</td> <td>2,237</td> <td>2,449</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>2,693</td> <td>2,096</td> <td>2,051</td> </tr> <tr> <td>総合診療科</td> <td>3,975</td> <td>2,827</td> <td>2,975</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>1,473</td> <td>1,236</td> <td>1,215</td> </tr> <tr> <td>循環器内科</td> <td>1,873</td> <td>1,482</td> <td>1,764</td> </tr> <tr> <td>脳神経内科</td> <td>1,254</td> <td>1,107</td> <td>1,185</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>6,788</td> <td>5,583</td> <td>5,758</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>27,293</td> <td>19,399</td> <td>21,342</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 心血管疾患医療</p> <p>・内科系の循環器内科と外科系の心臓血管外科が連携してチーム医療を行う県内初の施設として、心臓血管系の疾患患者に対応するとともに、不整脈科等設置した専門の診療科において、それぞれの患者に最適な治療を提供することができた。</p> <p>○手術・検査数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心臓カテーテル</td> <td>1,220</td> <td>1,023</td> <td>1,082</td> </tr> <tr> <td>PCI（経皮的冠動脈形成術）</td> <td>458</td> <td>398</td> <td>531</td> </tr> <tr> <td>冠動脈バイパス術</td> <td>59</td> <td>26</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>弁置換術</td> <td>35</td> <td>25</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>弁形成術</td> <td>20</td> <td>6</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>大動脈瘤切除術</td> <td>28</td> <td>34</td> <td>46</td> </tr> </tbody> </table> <p>○循環器系 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Ablation（アブレーション）</td> <td>264</td> <td>255</td> <td>273</td> </tr> </tbody> </table>	一日平均件数	15.6	12.9	14.6	項目／年度	2019	2020	2021	小児科	6,428	2,831	3,945	消化器内科	2,809	2,237	2,449	整形外科	2,693	2,096	2,051	総合診療科	3,975	2,827	2,975	外科	1,473	1,236	1,215	循環器内科	1,873	1,482	1,764	脳神経内科	1,254	1,107	1,185	その他	6,788	5,583	5,758	合計	27,293	19,399	21,342	項目／年度	2019	2020	2021	心臓カテーテル	1,220	1,023	1,082	PCI（経皮的冠動脈形成術）	458	398	531	冠動脈バイパス術	59	26	42	弁置換術	35	25	28	弁形成術	20	6	11	大動脈瘤切除術	28	34	46	項目／年度	2019	2020	2021	Ablation（アブレーション）	264	255	273			
一日平均件数	15.6	12.9	14.6																																																																																		
項目／年度	2019	2020	2021																																																																																		
小児科	6,428	2,831	3,945																																																																																		
消化器内科	2,809	2,237	2,449																																																																																		
整形外科	2,693	2,096	2,051																																																																																		
総合診療科	3,975	2,827	2,975																																																																																		
外科	1,473	1,236	1,215																																																																																		
循環器内科	1,873	1,482	1,764																																																																																		
脳神経内科	1,254	1,107	1,185																																																																																		
その他	6,788	5,583	5,758																																																																																		
合計	27,293	19,399	21,342																																																																																		
項目／年度	2019	2020	2021																																																																																		
心臓カテーテル	1,220	1,023	1,082																																																																																		
PCI（経皮的冠動脈形成術）	458	398	531																																																																																		
冠動脈バイパス術	59	26	42																																																																																		
弁置換術	35	25	28																																																																																		
弁形成術	20	6	11																																																																																		
大動脈瘤切除術	28	34	46																																																																																		
項目／年度	2019	2020	2021																																																																																		
Ablation（アブレーション）	264	255	273																																																																																		

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証（案）																							
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																											
<p>ップが関わり、安全で質の高い化学療法ができるように運営する。</p> <p>緩和ケアセンターでは、がん患者の外来・入院時のスクリーニングを推進し、緩和ケアチームが積極的に関われる体制を強化する。また、緩和ケア外来、がん看護外来及び緩和ケア病床の充実を図るとともに、緩和ケアの患者がいつでも緊急入院できる体制を整える。</p> <p>地域連携カンファレンスや診療所訪問などを通じて、顔のみえる病診連携を進め、在宅緩和ケアなど患者の希望に沿った切れ目のない緩和ケアを展開する。</p> <p>がん相談支援センターでは、患者のニーズを踏まえたがん患者及びその家族の在宅医療支援や就労支援に力を入れ、利用者数の増加を図っていく。</p> <p>5 こども医療</p> <p>小児医療の拠点病院として、一般の医療機関では対応が困難な重篤な小児患者を診療科を問わず24時間体制で受け入れ、高度で専門的な医療を提供する。</p> <p>小児救命救急センターとして必要な整備基準（PICUへの入院症例確保）を満たす体制づくりに努める。</p>	<table border="1"> <tr> <td>PMI（ペースメーカ）</td> <td>128</td> <td>128</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>CRT（心臓再同期療法）</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>ICD（植込み型除細動器）</td> <td>17</td> <td>23</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>CRT-D（両室ペースメーカー機能付植込み型除細動器）</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> </table>	PMI（ペースメーカ）	128	128	150	CRT（心臓再同期療法）	5	6	9	ICD（植込み型除細動器）	17	23	17	CRT-D（両室ペースメーカー機能付植込み型除細動器）	9	8	8												
	PMI（ペースメーカ）	128	128	150																									
	CRT（心臓再同期療法）	5	6	9																									
	ICD（植込み型除細動器）	17	23	17																									
	CRT-D（両室ペースメーカー機能付植込み型除細動器）	9	8	8																									
	<p>○心臓血管系 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EVAR（腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術）</td> <td>68</td> <td>34</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>TEVAR（胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術）</td> <td>24</td> <td>7</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>TAVI（TAVR）（経カテーテル大動脈弁置換術）</td> <td>59</td> <td>50</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>MitraClip（経皮的僧帽弁接合不全修復術）</td> <td>45</td> <td>40</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>左心耳閉鎖術（経カテーテル）</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	2019	2020	2021	EVAR（腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術）	68	34	35	TEVAR（胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術）	24	7	11	TAVI（TAVR）（経カテーテル大動脈弁置換術）	59	50	59	MitraClip（経皮的僧帽弁接合不全修復術）	45	40	30	左心耳閉鎖術（経カテーテル）	-	-	31				
	項目／年度	2019	2020	2021																									
	EVAR（腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術）	68	34	35																									
	TEVAR（胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術）	24	7	11																									
	TAVI（TAVR）（経カテーテル大動脈弁置換術）	59	50	59																									
	MitraClip（経皮的僧帽弁接合不全修復術）	45	40	30																									
	左心耳閉鎖術（経カテーテル）	-	-	31																									
	<p>3 周産期医療</p> <p><総合周産期センターの運営></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新生児センター機能とハイリスクの妊産婦等の医療機能などの統合を継続し、産婦人科と小児科の枠を超えた高度医療を提供した。特に、合併症妊娠や異常妊娠、多胎妊娠、産褥異常、胎児異常等の患者の診療を行った。 ・当センターを受診されている妊婦だけではなく、緊急母体搬送で送られてくるハイリスク妊婦を24時間体制で受け入れた。 																												
	<p>○母体搬送の受入件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>母体搬送</td> <td>103(6)</td> <td>75(2)</td> <td>143(1)</td> </tr> <tr> <td>救急搬送</td> <td>13</td> <td>6</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	2019	2020	2021	母体搬送	103(6)	75(2)	143(1)	救急搬送	13	6	10																
	項目／年度	2019	2020	2021																									
母体搬送	103(6)	75(2)	143(1)																										
救急搬送	13	6	10																										
<p>※（ ）はヘリコプター搬送《内数》</p>																													
<p>○産科合併症 単位：件</p>																													

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証（案）
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 				
		項目／年度	2019	2020	2021	
		早産	135	117	106	
		HDP（妊娠高血圧症候群）	61	36	34	
		常位胎盤・早期剥離	11	5	12	
		胎盤位置異常	39	53	50	
		羊水の異常	70	80	84	
		胎児異常	98	77	115	
		FGR（胎児発育不全）	48	43	53	
		○合併症妊娠			単位：件	
		項目／年度	2019	2020	2021	
		婦人科系疾患	50	117	132	
		心・血管疾患	11	9	8	
		血液疾患	3	1	8	
		腎疾患	6	9	14	
		糖尿病・妊娠性糖尿病	57	39	43	
		甲状腺疾患	26	35	38	
		自己免疫・膠原病	6	9	5	
		呼吸器疾患	6	8	13	
		消化器疾患	2	3	22	
		精神・神経系	10	11	14	
		運動機能系	0	0	0	
		○ハイリスク妊婦・分娩等（対象者）			単位：件	
		項目／年度	2019	2020	2021	
		総合周産期加算	347	307	335	
		ハイリスク妊娠	215	209	254	
		ハイリスク分娩	87	91	128	
		救急加算	109	156	149	
		○保健指導実績			単位：件	
		項目／年度	2019	2020	2021	
		保健指導	1,351	1,224	1,177	

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証（案）																								
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																												
		母乳相談	158	114	113																									
		<p><新生児医療センターの運営></p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内出生の病的新生児の入院数が再び増加に転じた。 ・軽症の院外出生児は他院へ三角搬送を行い、当院でしか管理できない中等症・重症例を受け入れた結果、院外出生児の受け入れは減少した。 ・新生児手術症例数は小児外科症例が中心に増加しており前年比1.4倍であった。さらに入院患者の重症度は増している。 																												
		<p>○出生、母体搬送件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>院内出生</td> <td>224</td> <td>207</td> <td>229</td> </tr> <tr> <td>院外出生</td> <td>46</td> <td>84</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>母体搬送経由</td> <td>60</td> <td>36</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>超低出生体重児</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>極低出生体重児</td> <td>60</td> <td>57</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table>			項目／年度	2019	2020	2021	院内出生	224	207	229	院外出生	46	84	63	母体搬送経由	60	36	30	超低出生体重児	31	31	22	極低出生体重児	60	57	48		
項目／年度	2019	2020	2021																											
院内出生	224	207	229																											
院外出生	46	84	63																											
母体搬送経由	60	36	30																											
超低出生体重児	31	31	22																											
極低出生体重児	60	57	48																											
		<p>○新生児手術状況 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児心臓外科</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>小児脳神経外科</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>小児外科</td> <td>16</td> <td>25</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科(気管切開)</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>			項目／年度	2019	2020	2021	小児心臓外科	10	15	9	小児脳神経外科	1	5	6	小児外科	16	25	47	耳鼻科(気管切開)	2	3	4						
項目／年度	2019	2020	2021																											
小児心臓外科	10	15	9																											
小児脳神経外科	1	5	6																											
小児外科	16	25	47																											
耳鼻科(気管切開)	2	3	4																											
		<p>4 がん医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん診療連携拠点病院として地域の医療機関と連携、あらゆる病期のがん患者に対して、良質な医療を提供した結果、COVID-19の影響下にあっても入院患者は前々年度とほぼ同程度まで増加、外来患者は大きく増加した。 																												
		<p>○がん患者数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>3,073</td> <td>2,926</td> <td>3,069</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>70,577</td> <td>70,467</td> <td>73,399</td> </tr> <tr> <td>がん患者死亡数</td> <td>84</td> <td>67</td> <td>62</td> </tr> </tbody> </table>			項目／年度	2019	2020	2021	入院	3,073	2,926	3,069	外来	70,577	70,467	73,399	がん患者死亡数	84	67	62										
項目／年度	2019	2020	2021																											
入院	3,073	2,926	3,069																											
外来	70,577	70,467	73,399																											
がん患者死亡数	84	67	62																											

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		自己 評価	評価委員会の検証（案）																																																									
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																																																												
		<p>・医療従事者や一般市民を対象とした研修会やがん事例の検討を行う「がんカンファレンス」、末期がん患者の症例や課題を検討する「病診連携緩和ケアカンファレンス」を感染防止に配慮するためハイブリッド形式で開催し、がん医療に係る啓発を行った。</p> <p>・がん認定看護師及びがん関連分野認定看護師が、がん治療及び療養に携わった。</p> <p>○がん治療及び療養に携わるがん認定看護師等 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん看護専門看護師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛看護師認定看護師</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん化学療法認定看護師</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>がん放射線療法認定看護師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>乳がん看護認定看護師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア認定看護師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>皮膚・排泄ケア認定看護師</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>摂食嚥下障害認定看護師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>・身体的・精神的な苦痛を和らげる緩和ケアについて、チームとして取り組んだ。</p> <p>○緩和ケアチームの人員体制等</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・医師7人、看護師4人、薬剤師2人、臨床心理士2人、栄養士2人、リハビリ4人 ・依頼者数 2019：224人 → 2020：209人 → 2021：220人 </td> </tr> </tbody> </table> <p>○治療の実績 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外科的治療</td> <td>1,371 (136)</td> <td>1,299 (150)</td> <td>1,200 (120)</td> </tr> <tr> <td>外来がん化学療法</td> <td>5,937</td> <td>6,469</td> <td>6,549</td> </tr> <tr> <td>入院がん化学療法</td> <td>2,794</td> <td>2,601</td> <td>2,634</td> </tr> <tr> <td>放射線治療</td> <td>470</td> <td>471</td> <td>445</td> </tr> </tbody> </table>		項目／年度	2019	2020	2021	がん看護専門看護師	1	1	0	がん性疼痛看護師認定看護師	1	2	1	がん化学療法認定看護師	3	3	3	がん放射線療法認定看護師	1	1	1	乳がん看護認定看護師	1	1	1	緩和ケア認定看護師	1	1	1	皮膚・排泄ケア認定看護師	3	3	3	摂食嚥下障害認定看護師	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・医師7人、看護師4人、薬剤師2人、臨床心理士2人、栄養士2人、リハビリ4人 ・依頼者数 2019：224人 → 2020：209人 → 2021：220人 	項目／年度	2019	2020	2021	外科的治療	1,371 (136)	1,299 (150)	1,200 (120)	外来がん化学療法	5,937	6,469	6,549	入院がん化学療法	2,794	2,601	2,634	放射線治療	470	471	445		
項目／年度	2019	2020	2021																																																											
がん看護専門看護師	1	1	0																																																											
がん性疼痛看護師認定看護師	1	2	1																																																											
がん化学療法認定看護師	3	3	3																																																											
がん放射線療法認定看護師	1	1	1																																																											
乳がん看護認定看護師	1	1	1																																																											
緩和ケア認定看護師	1	1	1																																																											
皮膚・排泄ケア認定看護師	3	3	3																																																											
摂食嚥下障害認定看護師	1	1	1																																																											
<ul style="list-style-type: none"> ・医師7人、看護師4人、薬剤師2人、臨床心理士2人、栄養士2人、リハビリ4人 ・依頼者数 2019：224人 → 2020：209人 → 2021：220人 																																																														
項目／年度	2019	2020	2021																																																											
外科的治療	1,371 (136)	1,299 (150)	1,200 (120)																																																											
外来がん化学療法	5,937	6,469	6,549																																																											
入院がん化学療法	2,794	2,601	2,634																																																											
放射線治療	470	471	445																																																											

項目 No.	R 3 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証（案）																			
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 	自己 評価																				
		<p>※（ ）はダ・ヴィンチによる手術《内数》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲノム医療に関しては、がんゲノム連携病院として、27件のがんゲノム遺伝子パネル検査を実施した。 ・がん相談支援センターとして、「相談室」、「退院サポート部」及び「セカンドオピニオン」のがん相談をとりまとめている。 ・がん患者の就労支援として、社会保険労務士及び両立支援促進員による相談をそれぞれ月1回、ハローワーク就労支援員による相談を月2回実施した。 <p>○がん相談支援センターの活動実績 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん相談</td> <td>953</td> <td>917</td> <td>1,127</td> </tr> <tr> <td>就労支援（がん）</td> <td>113</td> <td>54</td> <td>89</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度から、がん患者や家族のための「ほっとサロン」を毎日開催し、ピアサポーターによる支援を実施した。また、ほっとサロン学習会を2ヶ月ごとに開催する予定であったが、COVID-19の感染防止のため、実施しなかった。 <p>○ほっとサロン利用人数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,792</td> <td>250</td> <td>719</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 こども医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児医療の拠点病院として、一般の医療機関では対応が困難な小児の疾患に対し、高度で専門的な医療を提供した。 ・6床のP I C U（小児集中治療室）により、重篤な小児患者への対応を行った。 ・救急外来では、COVID-19の影響による患者数の減少が継続しているが、24時間体制で小児患者を受け入れた。 ・岐阜県の小児医療の中心的な役割を担う施設として、日本小児総合医療施設協議会（JACHRI）にて総会への参加、各種照会による情報共有を行った。 		項目／年度	2019	2020	2021	がん相談	953	917	1,127	就労支援（がん）	113	54	89	2019	2020	2021	1,792	250	719		
項目／年度	2019	2020	2021																				
がん相談	953	917	1,127																				
就労支援（がん）	113	54	89																				
2019	2020	2021																					
1,792	250	719																					

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		自己 評価	評価委員会の検証（案）																								
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																											
		<p>○PICUにおける病床稼働状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数（人）</td> <td>186</td> <td>178</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td>稼働率（%）</td> <td>49.8</td> <td>51.5</td> <td>59.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>○15歳未満救急外来受入状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入患者数</td> <td>8,694</td> <td>4,581</td> <td>5,711</td> </tr> <tr> <td>うち、入院数</td> <td>1,091</td> <td>728</td> <td>848</td> </tr> </tbody> </table>		項目／年度	2019	2020	2021	入院患者数（人）	186	178	202	稼働率（%）	49.8	51.5	59.9	項目／年度	2019	2020	2021	受入患者数	8,694	4,581	5,711	うち、入院数	1,091	728	848		
項目／年度	2019	2020	2021																										
入院患者数（人）	186	178	202																										
稼働率（%）	49.8	51.5	59.9																										
項目／年度	2019	2020	2021																										
受入患者数	8,694	4,581	5,711																										
うち、入院数	1,091	728	848																										
06	1 臨床研究及び治験の推進	<p>1 臨床研究及び治験の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治験実施件数は前年を下回ったが、治験症例件数は前年を大きく上回る実績となった。 <p>○治験 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治験実施件数</td> <td>23</td> <td>19</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>治験症例件数</td> <td>26</td> <td>17</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <p>○臨床研究事業 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受託研究件数</td> <td>102</td> <td>129</td> <td>108</td> </tr> </tbody> </table> <p>○主な臨床研究事業</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・MitraClip EXPAND G4 システムの安全性と性能を評価するための市販後臨床研究 ・COVID-19 中等症～重症患者の比較的徐脈に関する後方視的調査 </td> </tr> </tbody> </table>		項目／年度	2019	2020	2021	治験実施件数	23	19	18	治験症例件数	26	17	35	項目／年度	2019	2020	2021	受託研究件数	102	129	108	<ul style="list-style-type: none"> ・MitraClip EXPAND G4 システムの安全性と性能を評価するための市販後臨床研究 ・COVID-19 中等症～重症患者の比較的徐脈に関する後方視的調査 	III	臨床研究事業の受託研究件数が減少した。			
項目／年度	2019	2020	2021																										
治験実施件数	23	19	18																										
治験症例件数	26	17	35																										
項目／年度	2019	2020	2021																										
受託研究件数	102	129	108																										
<ul style="list-style-type: none"> ・MitraClip EXPAND G4 システムの安全性と性能を評価するための市販後臨床研究 ・COVID-19 中等症～重症患者の比較的徐脈に関する後方視的調査 																													
09	1 医学生、看護学生及びコメディカルを目指す学生の 実習受入れ 感染予防に配慮した上で、県内医療従事者の育成を図るため、医学生、看護学生及びコメディカルを目指す学生の実習の受入れ体制を整備し、今後も積極的に実習を受け入れる。	<p>1 医学生、看護学生及びコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内医療従事者の育成を図るため、医学生をはじめ看護学生、コメディカルを目指す学生の実習等の受入を行った。 <p>○医学生の実習等受入状況（実人数） 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生（実習）</td> <td>40</td> <td>25</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>医学生（病院見学）</td> <td>146</td> <td>123</td> <td>151</td> </tr> </tbody> </table>		項目／年度	2019	2020	2021	医学生（実習）	40	25	42	医学生（病院見学）	146	123	151	III	医学生と看護学生の実習の受入れが増加した一方、コメディカルの実習の受入れは減少した。												
項目／年度	2019	2020	2021																										
医学生（実習）	40	25	42																										
医学生（病院見学）	146	123	151																										

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証（案）																																												
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																																																
		○看護学生の実習受入状況（延べ人数） 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護学生</td> <td>7,786</td> <td>4,687</td> <td>6,490</td> </tr> </tbody> </table> ○コメディカルの実習受入状況（実人数） 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤部</td> <td>16</td> <td>18</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>リハビリ</td> <td>16</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>中央放射線部</td> <td>12</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>臨床工学部</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>栄養部</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>中央検査部</td> <td>31</td> <td>32</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>病理部</td> <td>10</td> <td>17</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>88</td> <td>95</td> <td>86</td> </tr> </tbody> </table>			項目／年度	2019	2020	2021	看護学生	7,786	4,687	6,490	項目／年度	2019	2020	2021	薬剤部	16	18	16	リハビリ	16	7	8	中央放射線部	12	15	15	臨床工学部	1	4	2	栄養部	2	2	4	中央検査部	31	32	25	病理部	10	17	16	合計	88	95	86		
項目／年度	2019	2020	2021																																															
看護学生	7,786	4,687	6,490																																															
項目／年度	2019	2020	2021																																															
薬剤部	16	18	16																																															
リハビリ	16	7	8																																															
中央放射線部	12	15	15																																															
臨床工学部	1	4	2																																															
栄養部	2	2	4																																															
中央検査部	31	32	25																																															
病理部	10	17	16																																															
合計	88	95	86																																															
10	2 医師不足地域や医師不足診療科、へき地診療所等への人的支援を含む診療支援による県全体の医療の確保 へき地医療拠点病院として、医師不足地域や医師不足診療科、へき地診療所等への診療支援（人的支援）を継続して実施する。	2 医師不足地域や医師不足診療科、へき地診療所等への人的支援を含む診療支援による県全体の医療の確保 ・県立下呂温泉病院や高山赤十字病院等に対して、診療上の人的支援を行った。 ○他の医療機関への人的支援の状況（延べ人数） 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立下呂温泉病院 （後期研修医を含む※1）</td> <td>930</td> <td>888</td> <td>948</td> </tr> <tr> <td>高山赤十字病院</td> <td>63</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>下呂市立金山病院</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>県立多治見病院</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>国保清見診療所 ※2</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>国保蛭川診療所 ※2</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>国保洞戸診療所</td> <td>—</td> <td>12</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>国保久々野診療所</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>郡上市民病院</td> <td>50</td> <td>49</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,060</td> <td>976</td> <td>1,033</td> </tr> </tbody> </table>			項目／年度	2019	2020	2021	県立下呂温泉病院 （後期研修医を含む※1）	930	888	948	高山赤十字病院	63	14	14	下呂市立金山病院	12	12	12	県立多治見病院	3	1	1	国保清見診療所 ※2	1	—	—	国保蛭川診療所 ※2	1	—	—	国保洞戸診療所	—	12	11	国保久々野診療所	—	—	1	郡上市民病院	50	49	46	合計	1,060	976	1,033	IV	医師不足地域やへき地診療所へ積極的に医師を派遣している点が評価できる。
項目／年度	2019	2020	2021																																															
県立下呂温泉病院 （後期研修医を含む※1）	930	888	948																																															
高山赤十字病院	63	14	14																																															
下呂市立金山病院	12	12	12																																															
県立多治見病院	3	1	1																																															
国保清見診療所 ※2	1	—	—																																															
国保蛭川診療所 ※2	1	—	—																																															
国保洞戸診療所	—	12	11																																															
国保久々野診療所	—	—	1																																															
郡上市民病院	50	49	46																																															
合計	1,060	976	1,033																																															

項目 No.	R3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証（案）									
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 	自己評価										
		※1 後期研修医数に退職派遣した専攻医を含む。 ※2 岐阜県へき地医療支援機構依頼分											
12	2 保健医療、健康管理等の情報提供 広報誌「けんこう」や地域医療連携センター部広報誌「れんけい」の定期発行、当センターを紹介した「診療案内」の適宜改定や病院ホームページでの掲載等を通じて、病院が有する保健医療情報を積極的に提供する。	2 保健医療、健康管理等の情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「けんこう」及び地域医療連携誌「れんけい」をそれぞれ2回発行した。 ・プレス発表や取材協力等マスメディアを活用した情報発信を行った。 ・コロナ禍での情報提供のあり方を検討し、WEBを中心とした疾患啓発を行うことで地域全体の新規患者を掘り起こすことを目的とした情報ネットワークの構築に向けて取り組みを開始した。 ・上記の取り組みやCOVID-19関係の情報を迅速に公開すること等により、TOPページのアクセス数について高い数値を維持できた。 ○ホームページアクセス数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TOPページ</td> <td>267,394</td> <td>363,560</td> <td>357,316</td> </tr> </tbody> </table>		項目／年度	2019	2020	2021	TOPページ	267,394	363,560	357,316	IV	ホームページへのアクセス数が非常に多く、適切に情報提供している点が評価できる。
項目／年度	2019	2020	2021										
TOPページ	267,394	363,560	357,316										
16	1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 2019年度末から発生しているCOVID-19に対して、感染が収束するまでの間岐阜県の要請に応じて、必要な病床を確保し、患者の受入れに必要な人員体制の整備、物資等の確保を行う。 指定地方公共機関として、新型インフルエンザ等対策特別措置法及び業務計画に定めるところにより、岐阜県、関係市町及び医療機関と相互に連携・協力し、新型インフルエンザ等対策の実施に努める。 また、当センターの受入れ体制を確保するため、必要な物資及び資材の備蓄・整備・点検並びに施設及び設備の整備・点検を行う。	1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・2020年2月に立ち上げたCOVID-19対策本部を継続し、病院幹部と各部門責任者、感染対策部メンバーなどにて週1回開催した。 ・診療・検査医療機関として、発熱外来を設置し発熱患者のトリアージを継続した。 ・新型コロナウイルス感染症重点医療機関として、5階西病棟をCOVID-19患者専用病棟として確保することに加え、2021年6月より診療体制を患者数に応じたものに強化した。 ○COVID-19診療体制 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>基本チーム</td> <td> リーダー(感染症内科 or 呼吸器内科) 医師1名(感染症内科 or 呼吸器内科) 専攻医2名(内科系・外科系) 循環器内科医師1名(ECMO対応) </td> </tr> </tbody> </table>		基本チーム	リーダー(感染症内科 or 呼吸器内科) 医師1名(感染症内科 or 呼吸器内科) 専攻医2名(内科系・外科系) 循環器内科医師1名(ECMO対応)	IV	新型コロナウイルス感染症に関して、重症患者のみならず、一般の新型コロナウイルス感染症患者も広く受け入れた点が評価できる。						
基本チーム	リーダー(感染症内科 or 呼吸器内科) 医師1名(感染症内科 or 呼吸器内科) 専攻医2名(内科系・外科系) 循環器内科医師1名(ECMO対応)												

項目 No.	R 3 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		自己 評価	評価委員会の検証（案）												
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 															
		<table border="1"> <tr> <td>拡充チーム</td> <td> 上記、基本チームの体制に加え、 専攻医 1 名(小児・産科系) 重症管理医師 1 名 </td> </tr> </table>	拡充チーム	上記、基本チームの体制に加え、 専攻医 1 名(小児・産科系) 重症管理医師 1 名													
拡充チーム	上記、基本チームの体制に加え、 専攻医 1 名(小児・産科系) 重症管理医師 1 名																
		<ul style="list-style-type: none"> ・マスク・ガウン・消毒薬などの必要物資の調達・備蓄に努めた。 ・通院中の外来患者、入院患者に対する COVID-19 ワクチン接種（ファイザー）に取り組んだ。また県からの依頼によりアストラゼネカ社製ワクチンの接種も実施し、ファイザー製ワクチンの接種ができない方でも接種できるように対応した。 ・ COVID-19 院内感染を未然に防止するため、職員からの発熱等の報告に対して迅速に対応する体制を整え、2022年1月末より各部署から毎日就業制限者の報告を求め、状況把握に努めた。 ・外来や病棟でコロナ陽性の患者や職員が出た際には、周囲の患者、職員の接触状況を聴取して集団検査を実施し、感染対策部の主導のもと、看護部、各診療科の医師、各部門・部署の所属長などが協力して行う体制を整備して、感染拡大を防止できた。 ・院内職員及びその家族に対する COVID-19 ワクチンの接種（各3回）を実施し、安全な医療を提供できる体制を整えた。 															
17	<p>1 医療型障害児入所施設の運営の継続</p> <p>当センターが有する専門医療機能を活用し、濃厚な医療的ケアを要する重症心身障がい児に対する専門的な医療的ケアを継続する。</p>	<p>1 医療型障害児入所施設の運営の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療型障害児入所施設「重症心身障がい児施設すこやか」において、長期入所として入所児に対して医療的ケア、生活支援及び療育を実施、年度末で長期入所児は3人増で、10人となっている。 ・一時的に在宅での介護が困難となった場合や、退院後に在宅で安心して生活できるよう家族がケア方法等を習得する教育目的に3人（長期入所扱い）を受入れ、目的の達成に取り組んだ。 <p>○入所者数の推移 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度末長期入所児</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>教育目的入所数</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・4階16床の本格稼働に向けて、医師4人、看護師23人、介護福祉士14人及び保育士3人の体制を確保したが、更なる人員確保に努めていく。 		項目／年度	2019	2020	2021	年度末長期入所児	8	7	10	教育目的入所数	9	6	3	III	<p>長期入所者数は増加した一方、教育目的入所数は減少した。</p>
項目／年度	2019	2020	2021														
年度末長期入所児	8	7	10														
教育目的入所数	9	6	3														

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証（案）																				
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																								
		○人員体制の推移 単位：人 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>22</td> <td>24</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>介護福祉士</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>保育士</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>			項目／年度	2019	2020	2021	医師	4	4	4	看護師	22	24	23	介護福祉士	12	13	14	保育士	3	3	3		
項目／年度	2019	2020	2021																							
医師	4	4	4																							
看護師	22	24	23																							
介護福祉士	12	13	14																							
保育士	3	3	3																							
19	3 ICT（情報通信技術）の活用等による経営効率の高い業務執行体制の充実 人事給与システム、勤怠管理システム、旅費システム、医事会計システム、財務会計システム等の機能の見直しを随時行うとともに、電子カルテシステム等の更新に合わせ、働き方改革につながる新たなシステムの導入について検討を行う。また、定年を迎えた職員のうち、病院経営に寄与すると認められる職員を再雇用することで、質の高い業務執行を推進する。	3 ICT（情報通信技術）の活用等による経営効率の高い業務執行体制の充実 ・人事給与システムの活用や旅費計算ソフトにより、業務の効率化を図った。 ・2021年4月に稼働開始した新人事給与システムにて、専用回線を利用したセキュリティの向上や給与計算等の処理時間の短縮を図った。また、職員の勤怠管理を適正に行うため、勤怠管理システム（タイムレコーダー）を継続した。 ・COVID-19に対応するため、各種研修会をオンデマンド形式で配信することができるシステムや小規模な会議等に対応できるオンライン会議システムを活用した。 ・定年を迎えた事務職員のうち、病院経営に寄与すると認められる職員を再雇用及び定年延長し、質の高い業務執行に努めた。 ○事務職員再雇用職員数 単位：人 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>再雇用</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>定年延長</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> ・電子カルテシステム等の更新に合わせ、放射線画像AI診断システムやRPAを導入することを決定した。			項目／年度	2019	2020	2021	再雇用	7	8	8	定年延長	0	0	1	合計	7	8	9	III	人事給与システムなどのシステムのさらなる活用による事務の効率化を検討されたい。				
項目／年度	2019	2020	2021																							
再雇用	7	8	8																							
定年延長	0	0	1																							
合計	7	8	9																							
20	1 人員配置の検証及び弾力的運用 各職種の職員1人あたりの医業収入推移等を検証した上で、医療需要の動向や経営状況の変化に迅速かつ的確に対応した診療科の変更、各職種の人員配置を弾力的に行う。	1 人員配置の検証及び弾力的運用 ・2015年度をベースとした各職種の職員1人あたりの医業収入推移を検証し、医療需要と経営状況のバランスを検討した上で、各職種の人員配置を弾力的に行った。 ○各職種の職員1人あたりの医業収入 単位：% <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>105.0</td> <td>96.7</td> <td>105.7</td> </tr> </tbody> </table>			項目／年度	2019	2020	2021	医師	105.0	96.7	105.7	IV	新型コロナウイルス感染症に対して、診療体制を柔軟に整備した点が評価できる。												
項目／年度	2019	2020	2021																							
医師	105.0	96.7	105.7																							

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証（案）																											
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																															
		<table border="1"> <tr><td>看護師</td><td>102.4</td><td>90.9</td><td>97.2</td></tr> <tr><td>薬剤師</td><td>109.8</td><td>114.5</td><td>111.1</td></tr> <tr><td>臨床検査技師</td><td>83.3</td><td>79.9</td><td>90.3</td></tr> <tr><td>放射線技師</td><td>92.0</td><td>79.2</td><td>78.4</td></tr> <tr><td>リハビリ技師</td><td>84.4</td><td>75.8</td><td>72.8</td></tr> <tr><td>管理栄養士</td><td>117.1</td><td>106.3</td><td>102.2</td></tr> <tr><td>臨床工学技士</td><td>46.4</td><td>38.4</td><td>41.5</td></tr> </table> <p>※数値は2015年度をベースとした伸び率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・COVID-19専用病棟に対して、岐阜圏域のフェーズに応じて他部署の医師や看護師を柔軟に配置した。 	看護師	102.4	90.9	97.2	薬剤師	109.8	114.5	111.1	臨床検査技師	83.3	79.9	90.3	放射線技師	92.0	79.2	78.4	リハビリ技師	84.4	75.8	72.8	管理栄養士	117.1	106.3	102.2	臨床工学技士	46.4	38.4	41.5			
看護師	102.4	90.9	97.2																														
薬剤師	109.8	114.5	111.1																														
臨床検査技師	83.3	79.9	90.3																														
放射線技師	92.0	79.2	78.4																														
リハビリ技師	84.4	75.8	72.8																														
管理栄養士	117.1	106.3	102.2																														
臨床工学技士	46.4	38.4	41.5																														
21	<p>1 人事評価システムによる公平かつ客観的な人事制度の運用</p> <p>人事評価システムにより職員の業績、職務能力、職責等を公正に評価し、職員の意欲が引き出される公平かつ客観的な人事制度の運用に努める。</p>	<p>1 人事評価システムによる公平かつ客観的な人事制度の運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人事評価システムにより職員の業績、職務能力、職責等を公正に評価し、職員の意欲が引き出される公平かつ客観的な人事制度の運用に努めた。 ・目標評価については、新たに目標の困難度と達成度を判定することにより、公平かつ客観的な評価を図った。また、6月支給の勤勉手当において、目標評価における成績優秀者にはその結果を手当に反映した。 	IV	<p>評価に応じて手当を支給する等、職員の意欲が引き出される人事制度の運用については評価できる。</p>																													
22	<p>1 事務部門職員の確保及び育成</p> <p>経営管理機能を強化するため、病院特有の事務に精通した職員を計画的に確保する。</p> <p>また、専門性の向上に計画的に取り組むため、診療報酬等の医事業務や診療情報分析、病院経営に係る財務経営分析、危機管理等専門性の高い業務に関する研修への参加及び診療情報管理士や医療経営士等の資格取得を支援する。</p>	<p>1 事務部門職員の確保及び育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営管理機能を強化するため、社会人経験者の採用試験を行い、銀行勤務経験者の中堅職員を確保した。 ・専門性の向上のため、職務に関連する研修の実施や資格取得を支援するため、「事務局職員人材育成計画」を策定した。 <p>○事務職員の状況（年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロパー職員</td> <td>64</td> <td>67</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>うち、診療情報管理士</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>うち、医療経営士</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>うち、院内がん登録実務中級認定者</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>県派遣職員</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>69</td> <td>70</td> <td>69</td> </tr> </tbody> </table> <p>単位：人</p>	項目／年度	2019	2020	2021	プロパー職員	64	67	67	うち、診療情報管理士	10	10	10	うち、医療経営士	2	2	2	うち、院内がん登録実務中級認定者	0	2	2	県派遣職員	5	3	2	合計	69	70	69	IV	<p>事務部門の人員の能力は、病院経営を大きく左右すると考えられることから、銀行勤務経験者の中堅職員を採用した点は十分評価できる。</p>	
項目／年度	2019	2020	2021																														
プロパー職員	64	67	67																														
うち、診療情報管理士	10	10	10																														
うち、医療経営士	2	2	2																														
うち、院内がん登録実務中級認定者	0	2	2																														
県派遣職員	5	3	2																														
合計	69	70	69																														
25	<p>1 調達の効率化及び適正な契約事務の実施</p>	<p>1 調達の効率化及び適正な契約事務の実施</p>	IV	<p>ベンチマークを活用した価</p>																													

項目 No.	R 3 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証（案）
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 	自己 評価	
	<p>業務内容の集約化・簡素化・迅速化・費用削減等の提案を評価するプロポーザル方式による業者選定をはじめ、複数年契約や関連性のある業務の包括委託化等多様な契約手法の導入を検討する。また、複数年契約を行うことによるメリットの有無を検討し、メリットがあるものについては、積極的に複数年契約の締結を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経営分析等を行うことで、薬品や診療材料の購入価格や委託業務の複数年契約等の経営改善すべき点の把握に努め、効率的な病院運営を図るための方策等を検討した。 ・複数メーカーの機種選定を勧め、ベンチマークを利用した交渉による医療機器の購入を行い、当初の予定金額より年間約4千万円のコスト削減ができた。 ・診療材料について、ベンチマークを活用して新規採用品目の価格を抑えるとともに、既存使用品目も継続して価格交渉を行い、節減効果を維持した。 ・医薬品について、経費圧縮等に関するアドバイザーの活用により、継続的な価格交渉を行い、経費削減を図った。 ・複数年契約が終了する一部の施設管理業務委託において、その評価を行うとともに、経営的にメリットのある契約手法を検討し、次期契約の締結を行った。 		<p>格交渉より、コストを削減した点が十分評価できる。</p>
26	<p>3 未収金の発生防止対策等</p> <p>診療費に係る未収金の発生防止対策として、緊急に入院となった患者への面談を実施することで保険確認や支払相談に早期に着手し、未収金発生の未然防止を徹底する。</p> <p>また、支払に関する相談に応じる体制の確保に加え、現金又はクレジットカード以外の支払手法の拡大を検討する。</p> <p>やむなく未収金となった場合には、支払計画の作成を促すとともにその履行を確認し、早期の督促、催告を実施する。あわせて回収が困難と見込まれる未収金については、平成22年度末に開始した債権回収業務委託（弁護士法人）を引き続き実施し、効果的、効率的な未収金回収に努める。</p>	<p>3 未収金の発生防止対策等</p> <p><発生防止></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院説明の際に、入院決定時に概算費用の提示や福祉制度の説明などを行った。また、入院患者には原則として限度額認定証の提示を求めていることを説明し、その手続きを依頼した。 ・救急搬送患者に対しては、医療相談員が身元確認、保険確認を早期に行い、医療保険制度の活用を紹介するなど高額な患者負担額とならないよう努めた。 ・出産に伴う入院費については、出産一時金直接払制度を利用していただくよう徹底を図った。制度の利用が困難な事案については、医療相談員が早期に介入し、退院時の支払が出来るよう支援を行った。 <p><回収></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月2回、定期的に督促状を發布し、早期に未収金回収に着手した。 ・督促状発布後、随時催告状を発送するとともに必要に応じ夜間電話催告や臨宅催告を行った。 ・未納者が受診した際には、面談による納付催告を実施した。 ・回収困難な未収金について、弁護士法人に回収業務を委託し、回収の実績を上げた。 	IV	<p>未収金の発生防止対策について評価できる。</p>

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				自己 評価	評価委員会の検証（案）																																																						
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																																																											
		<p>・診療費を分納により支払っている患者について、2020年8月より直接納付から金融機関口座振替への切替を進める取り組みを継続し、確実な収納に努めた。</p> <p>○回収実績（年度末現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>累積委託金額 (単位：千円)</td> <td>187,462</td> <td>199,628</td> <td>201,662</td> </tr> <tr> <td>累積回収金額 (単位：千円)</td> <td>85,310</td> <td>91,071</td> <td>94,062</td> </tr> <tr> <td>累積回収率 (単位：%)</td> <td>45.5</td> <td>45.6</td> <td>46.6</td> </tr> <tr> <td>単年度回収金額 (単位：千円)</td> <td>4,564</td> <td>5,766</td> <td>2,986</td> </tr> </tbody> </table> <p>○未収金発生状況（翌年度5月末現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">2019</th> <th colspan="2">2020</th> <th colspan="2">2021</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年度分</td> <td>357</td> <td>46,723</td> <td>348</td> <td>42,633</td> <td>289</td> <td>38,748</td> </tr> <tr> <td>現年度分</td> <td>263</td> <td>22,281</td> <td>232</td> <td>15,183</td> <td>281</td> <td>22,686</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>620</td> <td>69,004</td> <td>580</td> <td>57,816</td> <td>570</td> <td>61,434</td> </tr> </tbody> </table>				項目／年度	2019	2020	2021	累積委託金額 (単位：千円)	187,462	199,628	201,662	累積回収金額 (単位：千円)	85,310	91,071	94,062	累積回収率 (単位：%)	45.5	45.6	46.6	単年度回収金額 (単位：千円)	4,564	5,766	2,986		2019		2020		2021		件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	過年度分	357	46,723	348	42,633	289	38,748	現年度分	263	22,281	232	15,183	281	22,686	合計	620	69,004	580	57,816	570	61,434		
項目／年度	2019	2020	2021																																																										
累積委託金額 (単位：千円)	187,462	199,628	201,662																																																										
累積回収金額 (単位：千円)	85,310	91,071	94,062																																																										
累積回収率 (単位：%)	45.5	45.6	46.6																																																										
単年度回収金額 (単位：千円)	4,564	5,766	2,986																																																										
	2019		2020		2021																																																								
	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)																																																							
過年度分	357	46,723	348	42,633	289	38,748																																																							
現年度分	263	22,281	232	15,183	281	22,686																																																							
合計	620	69,004	580	57,816	570	61,434																																																							
27	<p>1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し及び適正な在庫管理の徹底</p> <p>医薬品及び診療材料については、全国自治体病院協議会と民間企業のベンチマークを活用した交渉を行うとともに、経費圧縮等に関する外部のアドバイザーを活用することにより、購入価格の削減に努める。</p> <p>また、SPD業務として各部署の適正な定数設定及び棚卸を実施し、診療材料の適正な管理に努める。</p>	<p>1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し及び適正な在庫管理の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医薬品については、アドバイザー活用による情報収集により価格交渉を実施し、年間薬価差益が約3億2千万円となった。 ・診療材料については、ベンチマークを活用して価格交渉を実施し、当初の予定金額より年間約6千万円のコスト削減ができた。 ・各部署における診療材料の定数配置について、継続的に品目及び数量の見直しを行い、効率的な管理を推進した。 <p>○医業収益に対する材料費比率 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				項目／年度	2019	2020	2021					IV	<p>外部アドバイザーの活用によるコストを削減した点が評価できる。</p>																																														
項目／年度	2019	2020	2021																																																										

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				自己 評価	評価委員会の検証（案）																																																								
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																																																													
		材料比率 ※1	30.3	30.4	30.9																																																										
		(内 薬品費)	15.0	16.2	16.2																																																										
		(内 診療材料費)	15.3	14.2	14.6																																																										
		※1 重症心身障がい児施設を除く																																																													
28	<p>予算（人件費の見積含む。）、収支計画及び資金計画 新たな第3期中期計画に基づく「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、経常収支比率100%以上、医業収支比率100%以上（重症心身障がい児施設を除く。）、職員給与費対医業収益比率50%以下（重症心身障がい児施設を除く。）の達成を目指す。</p>	<p>予算（人件費の見積含む。）、収支計画及び資金計画 中期計画上の取組を確実に実施し、業務運営の改善及び効率化を進めたことにより、経常収支比率102.8%、医業収支比率108.3%、職員給与費対医業収益比率49.6%となり、全ての項目において目標を達成することができた。</p> <p>○経常収支比率・医業収支比率・職員給与費対医業収益比率 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>99.7</td> <td>97.8</td> <td>102.8</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率 ※</td> <td>104.5</td> <td>103.0</td> <td>108.3</td> </tr> <tr> <td>職員給与費対医業収益比率 (人件費比率) ※</td> <td>48.4</td> <td>54.2</td> <td>49.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※重症心身障がい児施設を除く</p> <p>○決算（2021年度） 単位：百万円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>計画額</th> <th>決算額</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>25,157</td> <td>26,739</td> <td>1,582</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>22,817</td> <td>23,891</td> <td>1,074</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>1,578</td> <td>1,578</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 重症心身障がい児施設収益</td> <td>175</td> <td>166</td> <td>▲9</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>587</td> <td>1,102</td> <td>515</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>198</td> <td>221</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>87</td> <td>97</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>110</td> <td>124</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>				項目/年度	2019	2020	2021	経常収支比率	99.7	97.8	102.8	医業収支比率 ※	104.5	103.0	108.3	職員給与費対医業収益比率 (人件費比率) ※	48.4	54.2	49.6	区 分	計画額	決算額	増減	収入				営業収益	25,157	26,739	1,582	医業収益	22,817	23,891	1,074	運営費負担金収益	1,578	1,578	0	重症心身障がい児施設収益	175	166	▲9	その他営業収益	587	1,102	515	営業外収益	198	221	23	運営費負担金収益	87	97	10	その他営業外収益	110	124	14	IV	職員給与費対医業収益比率が改善した点が特に評価できる。
項目/年度	2019	2020	2021																																																												
経常収支比率	99.7	97.8	102.8																																																												
医業収支比率 ※	104.5	103.0	108.3																																																												
職員給与費対医業収益比率 (人件費比率) ※	48.4	54.2	49.6																																																												
区 分	計画額	決算額	増減																																																												
収入																																																															
営業収益	25,157	26,739	1,582																																																												
医業収益	22,817	23,891	1,074																																																												
運営費負担金収益	1,578	1,578	0																																																												
重症心身障がい児施設収益	175	166	▲9																																																												
その他営業収益	587	1,102	515																																																												
営業外収益	198	221	23																																																												
運営費負担金収益	87	97	10																																																												
その他営業外収益	110	124	14																																																												

項目 No.	R 3 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証（案）																																																																																															
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																																																																																																			
		<table border="1"> <tr> <td>資本収入</td> <td>812</td> <td>825</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>241</td> <td>191</td> <td>▲50</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>554</td> <td>614</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>17</td> <td>20</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他の収入</td> <td>—</td> <td>134</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>26,167</td> <td>27,920</td> <td>1,753</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業費用</td> <td>23,253</td> <td>24,196</td> <td>943</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td>22,436</td> <td>23,400</td> <td>964</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>11,035</td> <td>11,299</td> <td>264</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td>7,498</td> <td>8,108</td> <td>610</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>3,787</td> <td>3,869</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td> 研究研修費</td> <td>116</td> <td>123</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td> 重症心身障がい 児施設費用</td> <td>402</td> <td>375</td> <td>▲27</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>415</td> <td>420</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>366</td> <td>373</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>49</td> <td>46</td> <td>▲3</td> </tr> <tr> <td> 営業外費用</td> <td>145</td> <td>142</td> <td>▲3</td> </tr> <tr> <td> 資本支出</td> <td>2,121</td> <td>2,108</td> <td>▲13</td> </tr> <tr> <td> 建設改良費</td> <td>1,159</td> <td>1,166</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td> 償還金</td> <td>880</td> <td>923</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td> その他資本支出</td> <td>81</td> <td>18</td> <td>▲63</td> </tr> <tr> <td> その他の支出</td> <td>—</td> <td>133</td> <td>133</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>25,518</td> <td>26,580</td> <td>1,062</td> </tr> </table>	資本収入	812	825	13	長期借入金	241	191	▲50	運営費負担金	554	614	60	その他資本収入	17	20	3	その他の収入	—	134	134	計	26,167	27,920	1,753	支出				営業費用	23,253	24,196	943	医業費用	22,436	23,400	964	給与費	11,035	11,299	264	材料費	7,498	8,108	610	経費	3,787	3,869	82	研究研修費	116	123	7	重症心身障がい 児施設費用	402	375	▲27	一般管理費	415	420	5	給与費	366	373	7	経費	49	46	▲3	営業外費用	145	142	▲3	資本支出	2,121	2,108	▲13	建設改良費	1,159	1,166	7	償還金	880	923	43	その他資本支出	81	18	▲63	その他の支出	—	133	133	計	25,518	26,580	1,062			
資本収入	812	825	13																																																																																																		
長期借入金	241	191	▲50																																																																																																		
運営費負担金	554	614	60																																																																																																		
その他資本収入	17	20	3																																																																																																		
その他の収入	—	134	134																																																																																																		
計	26,167	27,920	1,753																																																																																																		
支出																																																																																																					
営業費用	23,253	24,196	943																																																																																																		
医業費用	22,436	23,400	964																																																																																																		
給与費	11,035	11,299	264																																																																																																		
材料費	7,498	8,108	610																																																																																																		
経費	3,787	3,869	82																																																																																																		
研究研修費	116	123	7																																																																																																		
重症心身障がい 児施設費用	402	375	▲27																																																																																																		
一般管理費	415	420	5																																																																																																		
給与費	366	373	7																																																																																																		
経費	49	46	▲3																																																																																																		
営業外費用	145	142	▲3																																																																																																		
資本支出	2,121	2,108	▲13																																																																																																		
建設改良費	1,159	1,166	7																																																																																																		
償還金	880	923	43																																																																																																		
その他資本支出	81	18	▲63																																																																																																		
その他の支出	—	133	133																																																																																																		
計	25,518	26,580	1,062																																																																																																		
		(注記 略)																																																																																																			
		○収支計画に対する実績（2021年度）	単位：百万円																																																																																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>計画額</th> <th>決算額</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収益の部</td> <td>25,323</td> <td>27,065</td> <td>1,742</td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>25,129</td> <td>26,713</td> <td>1,584</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>22,781</td> <td>23,857</td> <td>1,076</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	計画額	決算額	増減	収益の部	25,323	27,065	1,742	営業収益	25,129	26,713	1,584	医業収益	22,781	23,857	1,076																																																																																			
区 分	計画額	決算額	増減																																																																																																		
収益の部	25,323	27,065	1,742																																																																																																		
営業収益	25,129	26,713	1,584																																																																																																		
医業収益	22,781	23,857	1,076																																																																																																		

項目 No.	R 3 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証（案）
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 				
		運営費負担金収益	2,048	2,437	389	
		資産見返負債戻入	17	99	82	
		重症心身障がい児 施設収益	175	166	▲9	
		その他営業収益	107	152	45	
		営業外収益	194	217	23	
		運営費負担金収益	87	97	10	
		その他営業外収益	107	120	13	
		臨時利益	—	134	134	
		費用の部	25,283	26,351	1,068	
		営業費用	24,010	24,892	882	
		医業費用	23,204	24,103	899	
		給与費	11,214	11,473	259	
		材料費	6,820	7,364	544	
		減価償却費	1,594	1,568	▲26	
		経費	3,468	3,587	119	
		研究研修費	108	108	0	
		重症心身障がい児 施設費用	396	370	▲26	
		給与費	331	298	▲33	
		材料費	18	19	1	
		減価償却費	—	0	0	
		経費	46	51	5	
		研究研修費	0	0	0	
		一般管理費	410	419	9	
		給与費	362	359	▲3	
		減価償却費	3	15	12	
		経費	45	43	▲2	
		営業外費用	1,273	1,317	44	
		臨時損失	—	142	142	
		予備費	—	0	0	

項目 No.	R 3 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証（案）
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 				
		純利益	40	713	673	
		目的積立金取崩額	—	0	0	
		総利益	40	713	673	
		(注記 略)				
		○資金計画に対する実績（2021年度） 単位：百万円				
		区 分	計画額	決算額	増減	
		資金収入	30,295	32,037	1,742	
		業務活動による収入	25,354	26,249	895	
		診療業務による収入	22,992	23,495	503	
		運営費負担金による収入	1,665	1,675	10	
		その他の業務活動による収入	697	1,078	381	
		投資活動による収入	77	419	342	
		運営費負担金による収入	59	61	2	
		その他の投資活動による収入	17	358	341	
		財務活動による収入	736	738	2	
		長期借入による収入	241	191	▲50	
		その他の財務活動による収入	495	547	52	
		前事業年度からの繰越金	4,128	4,630	502	
		資金支出	30,295	32,037	1,742	
		業務活動による支出	23,397	24,045	648	
		給与費支出	11,732	12,076	344	
		材料費支出	7,517	8,037	520	
		その他の業務活動による支出	4,148	3,932	▲216	
		投資活動による支出	1,241	821	▲420	
		有形固定資産の取得	1,159	743	▲416	

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証（案）																														
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																																		
		<table border="1"> <tr> <td>による支出</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の投資活動による支出</td> <td>81</td> <td>78</td> <td>▲3</td> </tr> <tr> <td>財務活動による支出</td> <td>880</td> <td>923</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>長期借入金の返済による支出</td> <td>513</td> <td>555</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>移行前地方債償還債務の償還による支出</td> <td>368</td> <td>367</td> <td>▲1</td> </tr> <tr> <td>その他の財務活動による支出</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>翌事業年度への繰越金</td> <td>4,776</td> <td>6,246</td> <td>1,470</td> </tr> </table> <p>(注記 略)</p>	による支出				その他の投資活動による支出	81	78	▲3	財務活動による支出	880	923	43	長期借入金の返済による支出	513	555	42	移行前地方債償還債務の償還による支出	368	367	▲1	その他の財務活動による支出	—	0	0	翌事業年度への繰越金	4,776	6,246	1,470						
による支出																																				
その他の投資活動による支出	81	78	▲3																																	
財務活動による支出	880	923	43																																	
長期借入金の返済による支出	513	555	42																																	
移行前地方債償還債務の償還による支出	368	367	▲1																																	
その他の財務活動による支出	—	0	0																																	
翌事業年度への繰越金	4,776	6,246	1,470																																	
30	<p>岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の人事交流など、岐阜県及び岐阜県が設立した他の地方独立行政法人との連携を推進する。</p>	<p>岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携 ・引き続き、岐阜県立衛生専門学校へ1名の派遣を行った。</p> <p>○職員の他法人への出向状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>(1)</td> <td>(2)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>(1)</td> <td>1(2)</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※（ ）は岐阜県への退職派遣者数《外数》</p> <p>○県及び他法人職員の受入状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師・助産師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	2019	2020	2021	看護師	(1)	(2)	1	コメディカル	0	1	0	合計	(1)	1(2)	1	項目／年度	2019	2020	2021	看護師・助産師	1	1	0	コメディカル	0	0	0	合計	1	1	0	III	他の地方独立行政法人への人的支援をより強化されたい。
項目／年度	2019	2020	2021																																	
看護師	(1)	(2)	1																																	
コメディカル	0	1	0																																	
合計	(1)	1(2)	1																																	
項目／年度	2019	2020	2021																																	
看護師・助産師	1	1	0																																	
コメディカル	0	0	0																																	
合計	1	1	0																																	